

若狭公民館を拠点とした吹奏楽の地域クラブ活動 シミュレーション事業 報告書

2026. 4. 1

事業実施：一般社団法人 琉球フィルハーモニック

調査協力：一般社団法人Supporters' Supporter

はじめに 一本報告書の位置づけとご活用にあたっての注意

本報告書は、学校部活動の地域展開を見据え、若狭公民館を拠点として、地域の公共施設、専門的な指導者、学校、行政、関係団体等が連携しながら、吹奏楽活動を地域で支える可能性を検討するため、令和7年度なはSDGs推進事業を活用して実施した「若狭公民館を拠点とした吹奏楽の地域クラブ活動シミュレーション事業」に関する報告資料です。

本報告書では、上記事業について、実施内容、参加者アンケート、関係者の意見等をもとに、事業の成果と今後の課題を整理しています。また、本報告書は、特定の学校、団体、関係者の取組について、優劣を判断したり批判したりすることを目的とするものではなく、今後の地域クラブ活動や部活動の地域展開のあり方、学校・行政・地域・専門的な指導者・保護者等の連携体制を検討するための基礎資料として活用されることを目的としています。本報告書に記載された結果や考察は、本事業の実施条件、参加者、期間、地域資源等に基づくものであり、すべての学校や地域にそのまま当てはまるものではありません。また、アンケートや関係者の意見については、個人が特定されないよう配慮したうえで掲載しています。自由記述等については、趣旨を損なわない範囲で、一部表現を整理・要約している場合があります。

本報告書の内容を引用・紹介する場合、または研修、説明資料、報道等に活用する場合は、内容の正確な理解と適切な活用のため、必ず事前に琉球フィルハーモニック事務局（<http://ryukyuphil.org/contact>）までご連絡くださいますようお願いいたします。

調査実施概要

概要

本事業は、学校部活動の地域展開が進行する中で、運営体制および活動環境の整備に課題を抱える吹奏楽部に焦点を当て、地域に根ざした新たなクラブ活動の在り方を検討することを目的とする取組である。前年度の試行で得られた成果と課題（教員負担軽減や専門指導による効果、ならびに移動・運営の持続可能性等）を踏まえ、今年度においては、那覇市若狭地域に所在する那覇市立那覇中学校および那覇市立上山中学校の吹奏楽部を対象に、若狭公民館を拠点として2校合同の地域クラブ活動のシミュレーションを実施した。地域クラブ活動は学校と連携し、一般社団法人琉球フィルハーモニックが運営した。

本事業の実施結果として、生徒・保護者・学校・指導者・施設・管理団体の各主体から、総じて高い満足度が示され、活動の意義が認められる評価が得られた。特に、専門的知見を有する指導者による指導を通じた生徒の技術向上、教員の負担軽減、異年齢および他校生徒との交流による生徒の成長が成果として確認された。

一方で、事業の継続・拡充に向けては、参加に伴う移動およびスケジュール調整の負担、資金および運営体制の持続可能性の確保、生徒の主体性を担保する運営方法の構築が課題として整理され、学校部活動の地域展開を進行する上での課題が垣間見えた。

対象

地域クラブ参加生徒（那覇市立那覇中学校、那覇市立上山中学校の吹奏楽部生徒）と、その保護者

方法

無記名アンケート（Googleフォームまたは紙面）

実施時期

事前：2025年6月～7月

事後：2025年12月

有効回答数

事前

生徒：9件、保護者：10件

事後

生徒：11件、保護者：13件、学校関係者：2件、音楽指導者：6件、施設（公民館）関係者：2件、管理団体：1件

各調査結果の分析と本事業を通じての今後の展望

生徒

事前・事後の調査結果を比較分析すると、演奏技術や体験の質に対する高い満足度がある一方で、一部の生徒からは活動の主体としての意識（オーナーシップ）の低下という、相反する要素が混在していることが明らかとなった。

まず、心理的な変容について、事前調査において、生徒の多くは「知らない子たちとの演奏への恐怖感」や「厳しい指導への懸念」を抱いていた。また、学校の部活動が地域化することに対し、「部活ではなく習い事になってしまうのではないか」という、活動のアイデンティティに対する不安も吐露されていた。しかし事後調査では、これらの不安の多くは払拭され、活動への満足度は非常に高い結果となった。その主な要因は、自校単独では実現不可能な「大人数での合奏による迫力」や「専門家による指導での技術的成長」を実感できたことにある。他校生徒やジュニアジャズ（小学生）との交流も、「負けないように頑張ろう」という競争心や視野の拡大につながり、当初の「人間関係の不安」は「切磋琢磨する刺激」へと肯定的に変化したといえる。

一方で、事前調査で懸念されていた「習い事化」は、課題として顕在化している。技術面での満足度は高いものの、運営面においては「自分たちの意見を言う場がない」「急に決まったことを伝えられるだけで、自分たちが部活をやっている感じがしない」といった不満が一部の生徒から生じている。通常の学校部活動では生徒が主体となって行う選曲や練習計画の策定が、地域クラブでは演奏会のスケジュールや全員集まっただけの会議が開催できなかった都合で、大人（講師・管理団体）主導で決定され、生徒からは「普段の部活では顧問に任せきりではなく、できることは自分たちでやらせてほしい」という意見が出ており、活動自体を自分たちで作り上げるプロセスへの参画を求めていることが分析できる。

また、物理的な側面では、楽器を持つての移動や日曜開催による休息不足が、継続的な参加のハードルとなっている。実際、「家から遠く参加しづらい」「休みの日がなくなってしまう」といった理由で参加頻度が低下する事例も見られ、生徒の生活リズムや体力面への配慮が不可欠であることが示唆された。

保護者

保護者の意識についても、事前・事後の変化において顕著な特徴が見られた。

事前調査では、「プロから教えてもらえる貴重な経験」への期待が高い一方、具体的な保護者の関わりしろや負担感が不明確なことへの不安があった。活動を経て実施された事後調査においては、子どもが活動内容を楽しそうに話す姿や、家庭内での親子の会話が aumentato ことに対し、非常に高い満足度が示された。管理団体への信頼感も概ね醸成されており、専門家による指導が子どもの意欲向上に寄与した点は高く評価されている。

しかし、家庭の負担感については評価が二極化する結果となっている。土日の学校部活動がなくなることによって「家族の時間が増えた」と負担軽減を実感する層がいる一方で、遠方への送迎や、親戚宅からの移動に伴う交通費の発生など、家庭の立地や事情によって負担が増加したケースも見られた。また、連絡体制については、LINE等の活用が評価されているものの、「集合時間が直前まで不明」「生徒経由の情報伝達の不確実さ」への不満が見られた。加えて、出欠連絡を親が管理することに対し、「子どもの自主性を損なう（過干渉になる）」と懸念する意見もあり、保護者の関与度合いのバランスも今後の検討課題であると思われる。

学校関係者

学校関係者からは、休日の部活動指導から解放されたことで業務負担が「とても減った」と明確に評価されており、部活動地域展開の主目的の一つである「教員の働き方改革」に大きく寄与していることが確認された。教育・福祉的な観点からは、専門家による技術指導の効果に加え、不登校傾向にある生徒にとって、学校以外の地域クラブが参加しやすい居場所として機能している点に、高い意義が見出されていた。管理団体との連携も密に行われており、学校側の不安が払拭された状態で運営されていることが、学校関係者の高い満足度につながっていると思われる。

音楽指導者

講師からは、生徒の変化について、当初は受け身であったが回を重ねるごとに質問を用意するなど「自立」し始めた点を高く評価していること、学校外でのイベント出演が強力な動機づけとなり、練習意欲の向上につながったと分析していることが確認できる。一方で、指導環境については、学校備品の楽器メンテナンス不足が指導の支障となったほか、レベルの異なる生徒や大人数を一度に指導する際の難しさや、公民館のホールという限られたスペースで指導する難しさ（音の被り等）が課題として挙げられた。

また、取組の持続可能性に関しても懸念も挙げられている。「地域でこどもを育てる」という視点に賛同し意欲的であるが、現在の謝金は適正な対価とは乖離があると感じている他、限られた地域での小規模な取組とならざるを得ない地域クラブ活動に対して「参加者数が少なく、今後の活動が懸念される」という意見も示されていた。これらの点からは、専門性を安価に提供し続けることの限界と、適正な予算確保の必要性が示唆される。

施設（公民館）関係者

公民館関係者は、本事業が公民館のミッション（つどう・まなぶ・むすぶ）と合致しており、業務負担も増えないことから、極めて肯定的に受け止められている。特に、無料で楽器レンタルやレッスンを提供することで「経済格差による体験格差」を是正している点や、世代を超えた地域コミュニティ形成の場として機能している点を高く評価している。

他地域への展開にあたっては、関係者間で単なる場所貸しではなく「ビジョン（目指すべき方向性）」を共有することが成功の鍵となる可能性があるとの意見が挙げられた。

管理団体

管理団体は、コンクール直前の開始という過密スケジュールの中で、学校・公民館・講師との調整役として機能し、円滑な運営を実現していた。特に、コンクール後の中だるみを防ぐためにイベント（クリスマスコンサート等）や目標を設定し、生徒のモチベーション維持、満足度向上にも成功している。

しかし、運営基盤は脆弱であるといわざるを得ない。今回の成功は、協力的な校長・顧問、安価で引き受けてくれた講師、そして管理団体のリソースや献身的な調整に支えられている側面が強い。消耗品や楽器修理費、適正な講師謝金、事務局運

営費といった恒久的な財源が確保されていないことが最大の課題である。また、日曜日は塾や家族の予定と競合しやすく、参加者が固定化する傾向があるため、活動日程に関する検証も必要であるとの意見が挙げられた。

今後の展望と提言

❖ 今後の展望

本事業は、定量的評価（満足度）においては、生徒の技術向上、教員の負担軽減、施設の有効活用という多面的な成果を達成した。しかし、自由記述等の定性的データを詳細に分析すると、持続可能な制度として定着させるためには課題となりうる「構造的な脆弱性」が浮き彫りとなっている。現状は、関係者の個人的な善意と献身によって辛うじて成立している均衡状態であり、制度設計の抜本的な見直しが求められる。

① 教育的価値の変容：生徒の「習い事化」への懸念

生徒の満足度は高いものの、一部の生徒からは、「急に決まったことを伝えられるだけで、自分たちが部活をやっている感じがしない」「意見を言う場がない」といった不満が滞留している。

通常の部活動で培われるべき「自分たちで組織を運営する経験」が、地域クラブでは演奏会のスケジュールや、全員集まっただけの会議が開催できなかった都合により欠落し、大人が用意したプログラムを受動的にこなす「お客さん」の状態に置かれてしまった。これは、地域移行が単なる「安価な音楽教室の提供」に変質してしまうリスクを示唆しており、部活動が本来有していた教育的価値（オーナーシップの醸成）をいかに地域クラブへ移植するかが課題である。

② 運営基盤の脆弱性：「やりがい搾取」と財源の欠如

運営の実態は、経済的な持続可能性を欠いている。講師の多くは「地域で子供を育てる」という理念に共感し参加しているが、支払われた謝金は、講師が認識する市場適正価格と乖離しており、講師のボランティア精神に依存している。

管理団体においても、消耗品の調達を学校負担で賄っていた状況や、事務局運営費が確保されていない中で献身的な調整業務を行っている実態があ

る。このような「やりがい搾取」に近い構造のままでは、熱意ある人材が疲弊・離脱した時点でシステムが崩壊する蓋然性が高いと言えるであろう。

③ 「体験格差」の拡大と家庭負担の二極化

保護者の負担感は、家庭の地理的・経済的条件により二極化している。近隣在住や送迎可能な家庭にとっては「家族の時間が増えた」恩恵がある一方、遠方の家庭や親戚宅を経由する家庭にとっては「送迎の手間」「交通費」が新たな障壁となり、参加頻度の低下を招いている。

行政によるインフラ整備がなされなければ、部活動地域展開が、家庭の経済力や地理的条件による「体験格差」を助長する結果となりかねない。

❖ 提言

上記の構造的課題を解決し、本モデルを他地域へ展開可能な「持続可能なシステム」として確立するため、行政（教育委員会・自治体等）に対し、以下の4点を提言する。

① 「生徒の主体性」を担保するガイドラインの策定と運用要件化

地域クラブへの業務委託や補助を行う際、単に技術指導を行うだけでなく、「生徒が参画する会議・意思決定の場の設置」を仕様書やガイドライン等で考慮すべき必要がある。

具体的な取組例

- 練習スケジュールの決定、選曲の一部、イベント企画などに生徒が関与する「ミーティング時間」を活動プログラムに必須項目として内包させる。
- 指導者に対し、演奏技術だけでなく、生徒の意見を引き出し、主体性を育む「ファシリテーション能力」等を求める要件定義を行ったうえで、仕様書やガイドラインを策定・運用する。

② 適正対価を前提とした予算措置と受益者負担の導入

協力価格や個人の善意に依存した予算構造を脱却し、専門職に対する適正な対価を行政が基準として示す必要がある。

具体的な取組例

- 講師謝金の適正化として、質の高い指導を維持するため、市場価格を考慮した適正単価を予算化する。
- 現在、学校負担となっている消耗品費（リード、オイル等）や、楽器メンテナンス費、管理団体負担となっている事務局経費を賄うため、公費による補助を検討する。
- 受益者負担を導入する際は、経済的困難世帯に対して就学援助制度を活用した補助や、企業版ふるさと納税等を原資とした「地域部活動基金」を創設し、経済格差による排除を防ぐ仕組みをセットで導入する。

③体験格差と情報格差を解消するロジスティクス支援

物理的な距離や情報伝達の不備が、参加のハードルおよび保護者の負担となっている現状に対し、環境整備を行う必要がある。

具体的な取組例

- 遠方の生徒に対し、スクールバスの活用、公共交通機関の補助チケット配布を行う。また、大型楽器（コントラバス、打楽器等）の運搬負担を軽減するための補助や、拠点校・公民館への常設楽器の整備予算を確保する。
- 活動に関する情報の不確実性を解消するため、保護者と運営団体が直接繋がる連絡アプリ等の導入を支援する。

④ 地域クラブの活動を支える人材や機関の配置

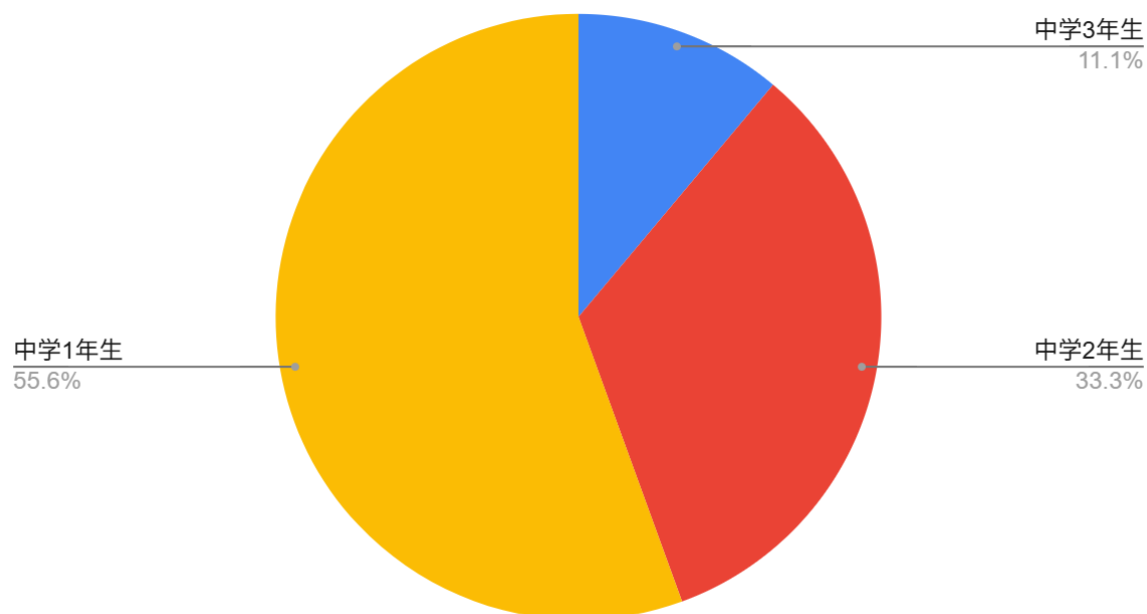
本事業の成功は、管理団体がコンクール直前の過密日程の中で、学校・公民館・講師・保護者間の複雑な利害調整を完遂したことに起因する。しかし、これは属人的な能力と献身に依存しており、再現性が低いため、行政機関内に地域のコーディネートや支援を行う地域クラブコーディネーターの配置や、地域クラブ支援機関を設置する必要があるだろう。

調査結果

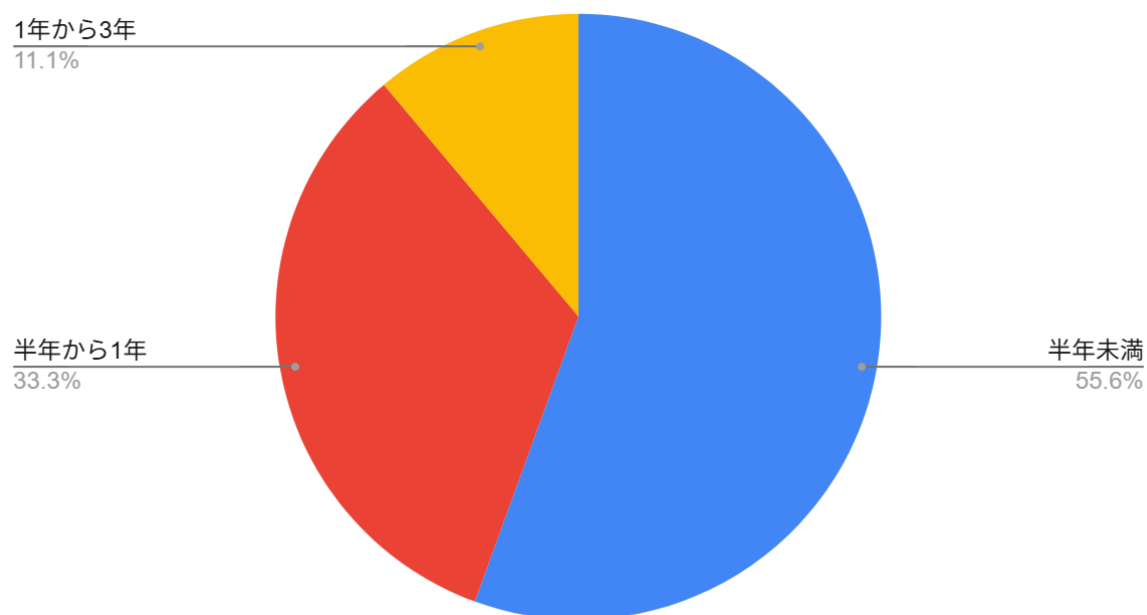
生徒詳細

事前調査（有効回答数：9件）

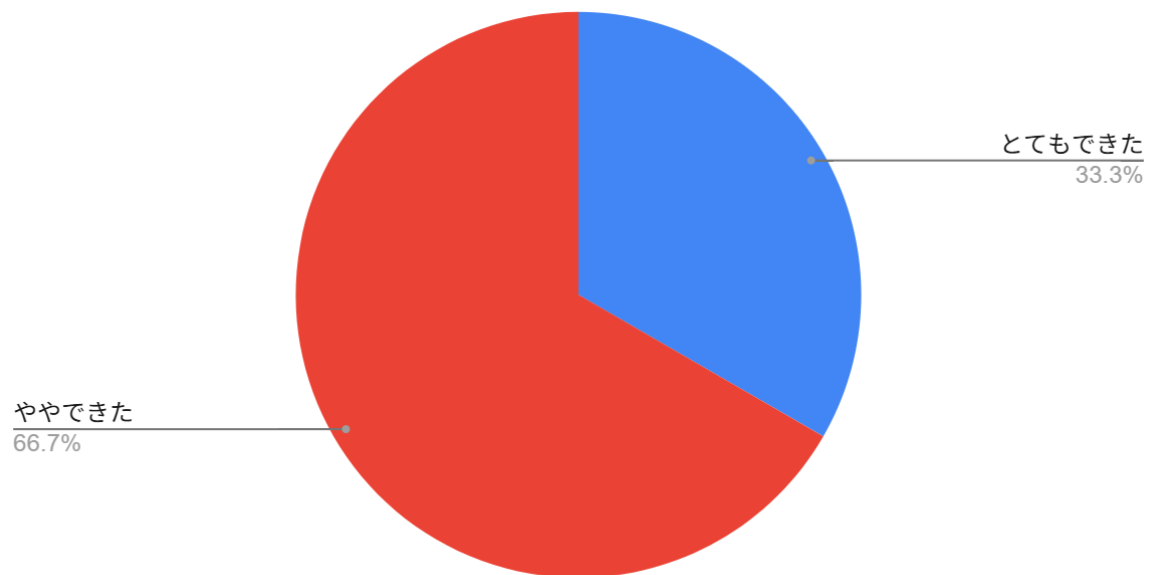
❖ 学年



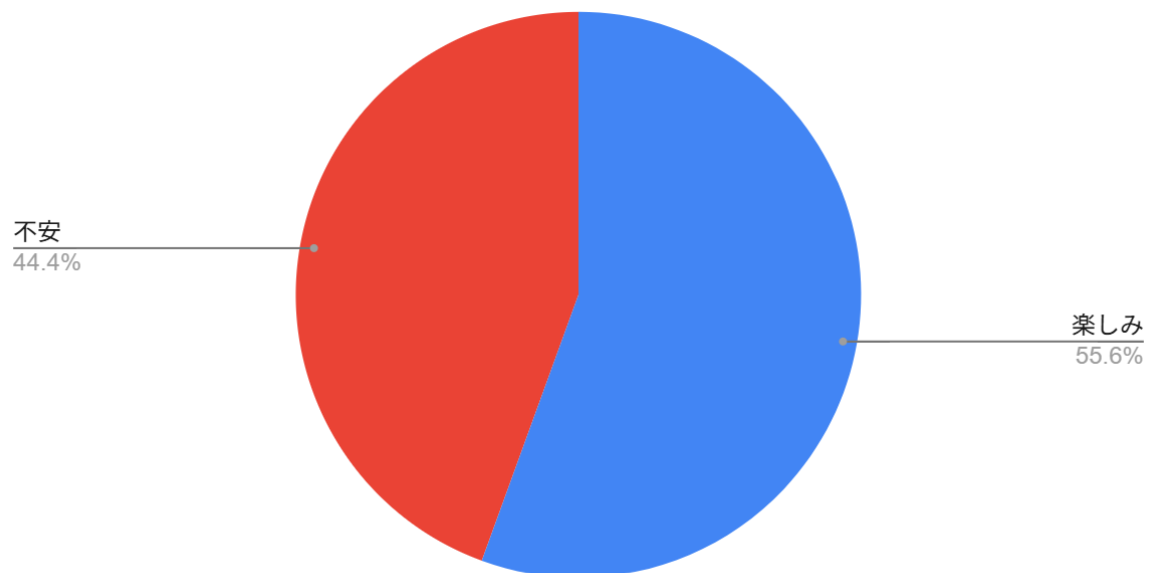
❖ 吹奏楽の経験年数



❖ 吹奏楽部に入ってから、自分の演奏したい楽器や活動に取り組むことはできたか



❖ 地域クラブへの期待



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ● 初めての人達との合奏だしそれ以外に頑張りたいから。 ● 他校と音楽を通して関わってみたかったから ● 新しい仲間と共に取り組めるからというのもあるし、何よりたくさん学べるから ● 教えてもらえるので ● 合同演奏は楽しみだけど上山のメンバーと馴染めるかど

	うかや、忙しいなどの不安があるから。
不安	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しけど、コンクールや、自分がうまく、えんそうできるかちょっと心配がある。 ● 「那覇中」の「吹奏楽部」ではなく「地域」の「吹奏楽部」になったらどうなっていくんだろうと思ったから。 ● 合同で演奏できるというもともと違うという楽しみもあるが、自分よりレベルの高い人がいたり、仲良くなれるか不安

❖ 他校や小学生との活動で楽しみなこと、不安なこと

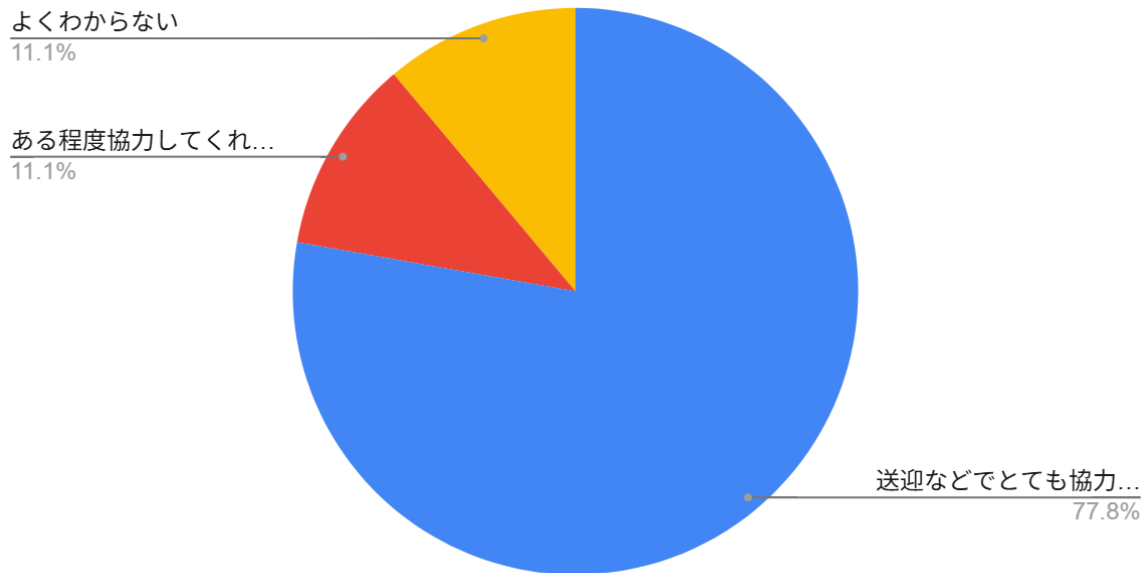
<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しみなことは、初めましての人との関わりが増えること！不安なことは特にありません ● あんまりないです ● 他校の人たちとやるのは、きんちょうするけど、他校の子たちといっしょにえんそうなども、頑張っていきたいです。不安は今のところありません。 ● 友達ができればなあーって思ってる。不安と楽しみが6:4ぐらい。 ● 仲良くなれるか ● いっぱい大勢でやるのが初だからその面では楽しみです。 ● とくになし
--

❖ 活動を通じて頑張りたい・伸ばしたいこと

<ul style="list-style-type: none"> ● コンクールの曲をきれいな音を出してよりうまく練習すること。 ● 目標に向け、課題を指摘し合い上達すること ● 新しいことを学び、生かすことを頑張りたい ● 演奏をもっと上手くしたい ● 学校以外でも友達や仲間を作りたい！楽器を(音楽を)楽しみたい！チームワークを伸ばしたい ● 音楽や、楽器のちしきなど学んで、いろんな楽器も演奏して、コンクールなど、人前にでる、協力してどんけつするたいけんをしたい。 ● 最初から賞とれないってあきらめるんじゃないくて、あまり頑張れないから、目標を持って頑張りたい。音域を広くしたい。

- 部活内ではできない、大規模な合奏を頑張りたい。細かいポイントをつかむ
- ラストの楽器だから、真剣に自分の楽器に向き合って、表現力が今よりもっとつけれるようにしたいです。

❖ 家庭の協力の見込み

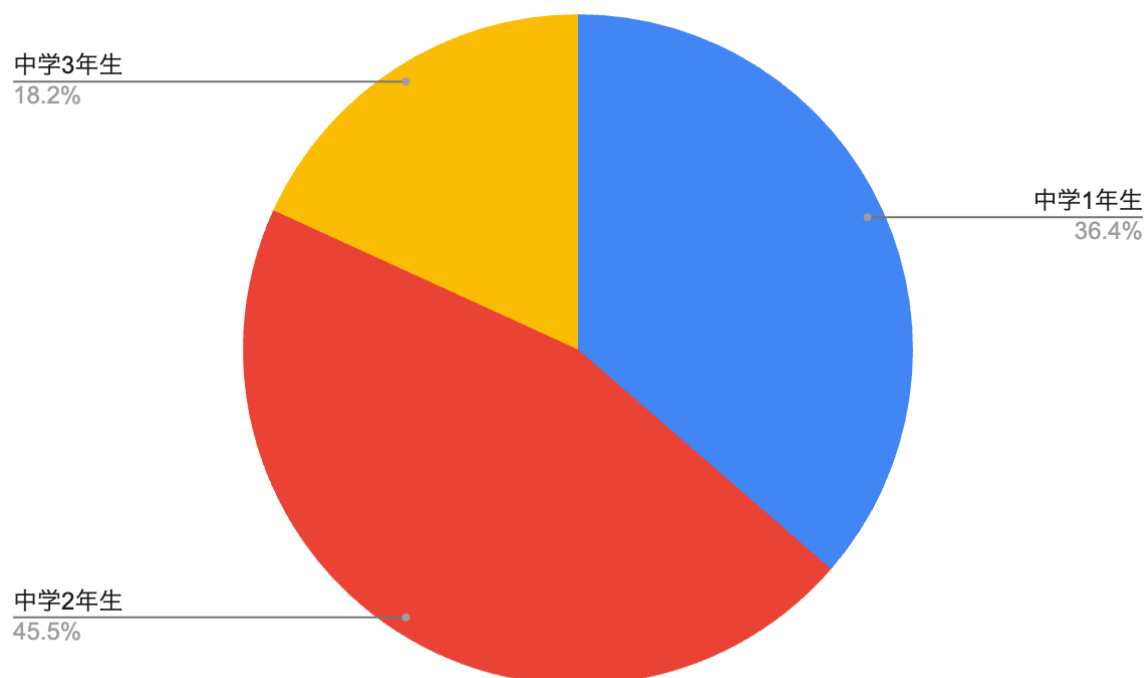


❖ 学校外で練習することについて

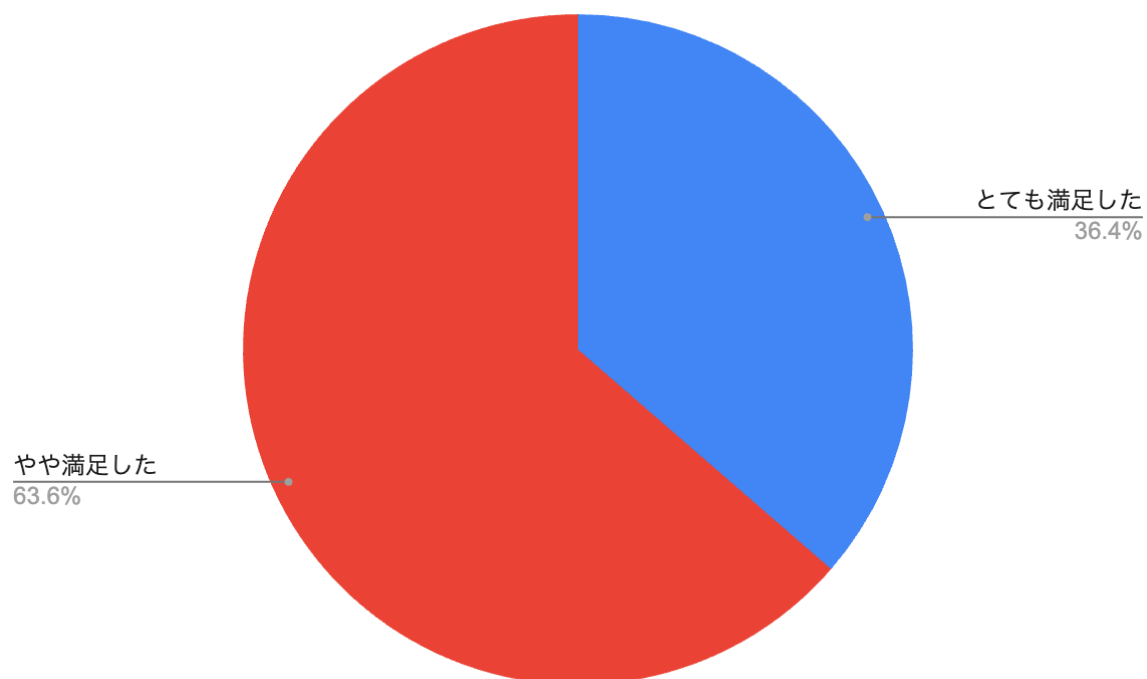
- いいと思います
- 個人的には学校で「部活」をやりたいから、学校外でやったら、「部活」じゃなくて「習い事」みたいになっちゃいそうでちょっとイヤだ。せめて学校外の「部活」みたいなふんい気を出してくれればなあって思う。
- やっぱり初めて他のところに練習に行くから少し緊張します。
- とてもいい経験になると思う
- いいと思う
- 楽しみだけど、学校の部活なので、学校の部活を中心に出来ればいいな〜とちょっとは思う。学校外で練習していつもと違う雰囲気を楽しみたい!!!色々な学校外の活動に積極的に参加したい!!
- ちょっぴりきんちょうする。
- 普通よりたくさん練習できて嬉しいが休みの日がなくなってしまう。
- 知らない環境でやるということも、不安な気持ちでいっぱい、緊張してしまうっていうか、とりあえず、不安です。けど、ちょっとずつ、慣れていきたいと思っています。

事後調査（有効回答数：11件）

❖ あなたの学年を教えてください



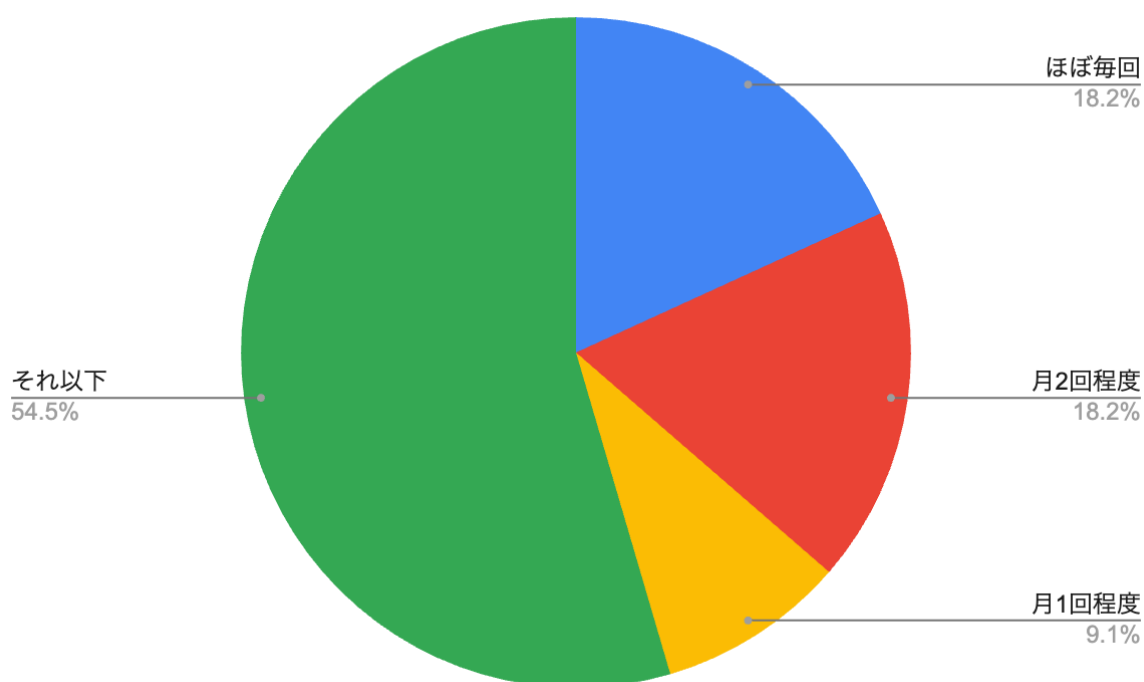
❖ 地域クラブで他の中学校と合同で出場したコンクール、パレットくもじクリスマスフェスタを振り返り、どのくらいの満足感がありますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても満足した	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しかったから ● 私にとって大きな経験になったから ● 自分たちの中学校ではできない、大人数での合奏や、合同練習ができたから ● 去年とは違う景色を見れたと思ったから
やや満足した	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師のみなさんに教えていただける貴重な機会であったから ● 人数が増えて音が大きくなったこと ● コンクールは最初は自分たちの演奏が出来ないのかと思って乗り気じゃなかったけど意外と楽しかったから。パレットクモジはイルミネーションがきれいだったから。 ● 演奏や本番はとても楽しかったが、もっとメンバー同士で仲良くなる時間が欲しかった ● 一つの学校以外でやるのが新鮮だったから ● 3年で3月まで休部に入ってクリスマスコンサートは参加してないけどコンクールの合同練習があるときは不安の方が大きかったけど、やってみたら少しは不安はあったけど思ってたより楽しめました！

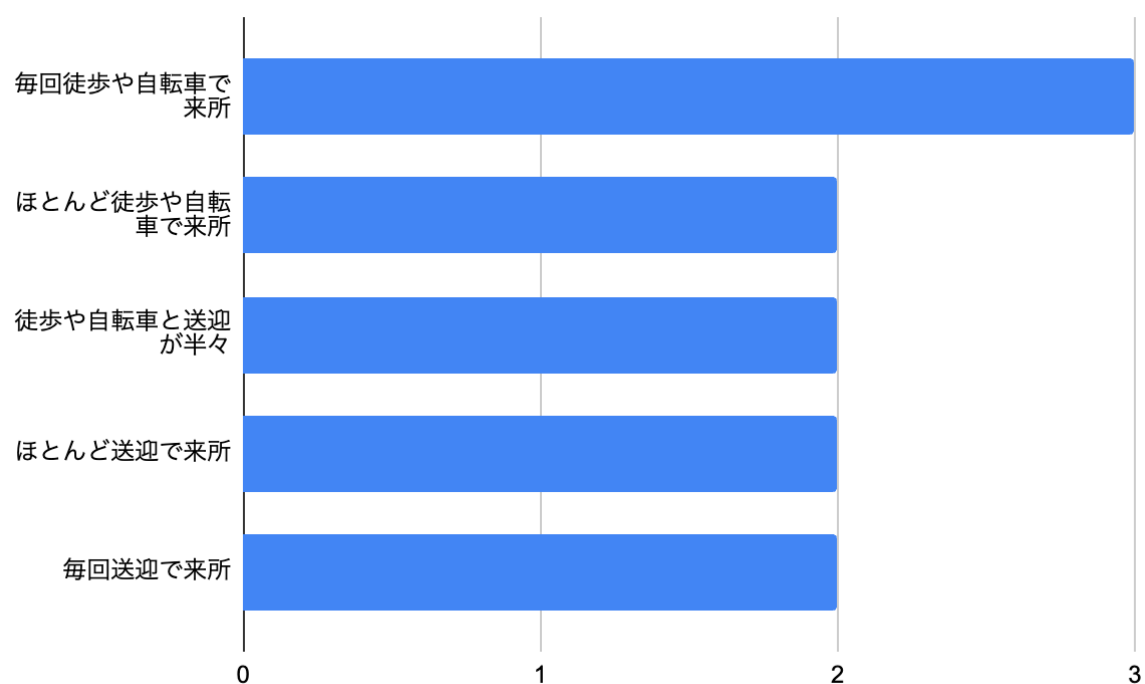
❖ 地域クラブ活動の参加頻度を教えてください



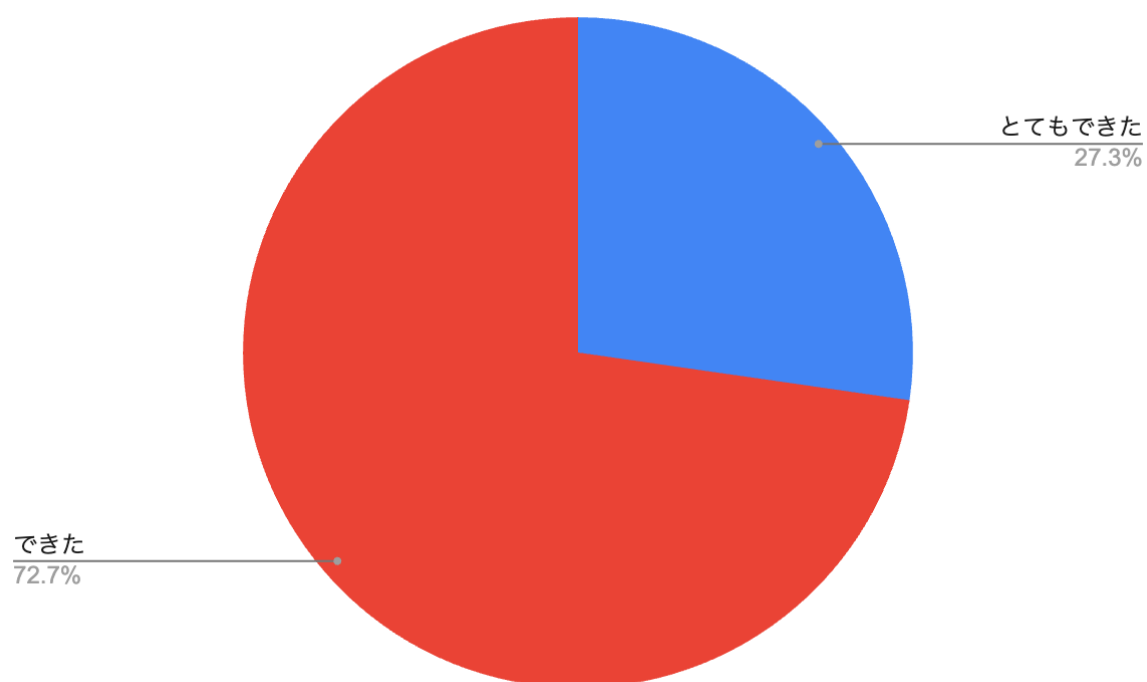
❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
ほぼ毎回	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の力を伸ばすため ● 普段の学校での部活は他の部活や生徒会があるため、参加出来ないことが多いから
月に2回程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 後半ぐらいからあんま行かなくなった ● 予定が重なる
月に1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しいが、用事があるため
それ以下	<ul style="list-style-type: none"> ● 家から地域クラブまでの場所が遠く、参加しづらい ● 他に習い事があるから ● 家庭の都合があわないため ● 参加するときに用事が重なる ● その時間帯は大体家族と一緒にいるから ● 休部に入る前は毎回参加していたが、休部に入って参加することはなくなりました

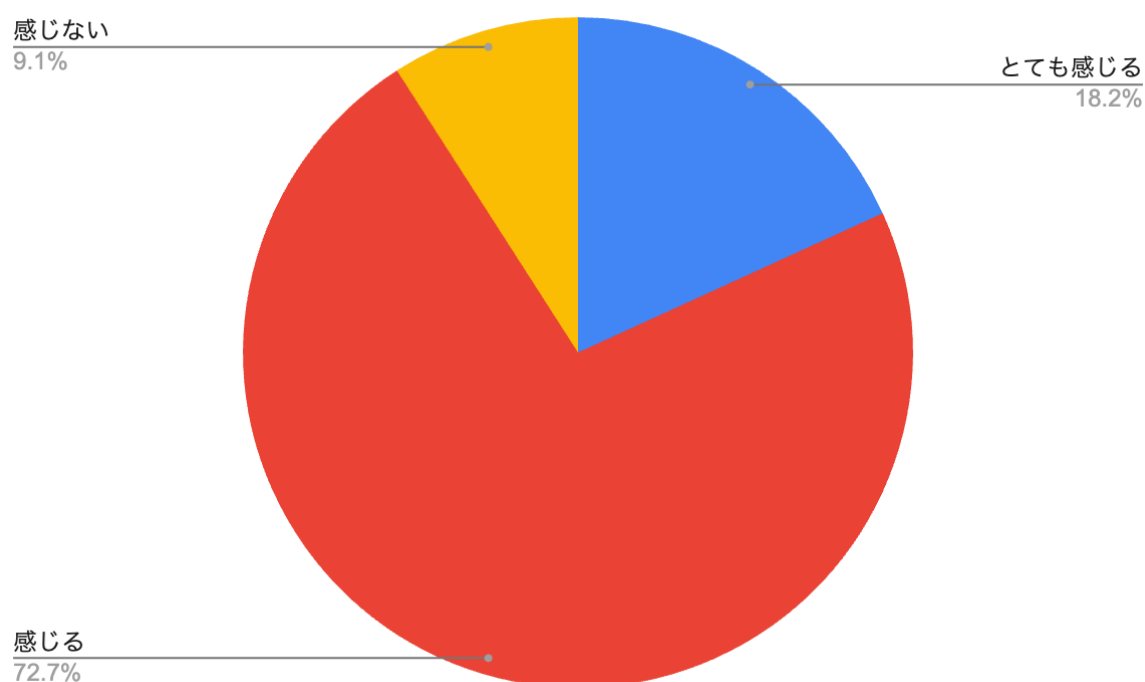
❖ 地域クラブ活動に参加する際の移動方法を教えてください



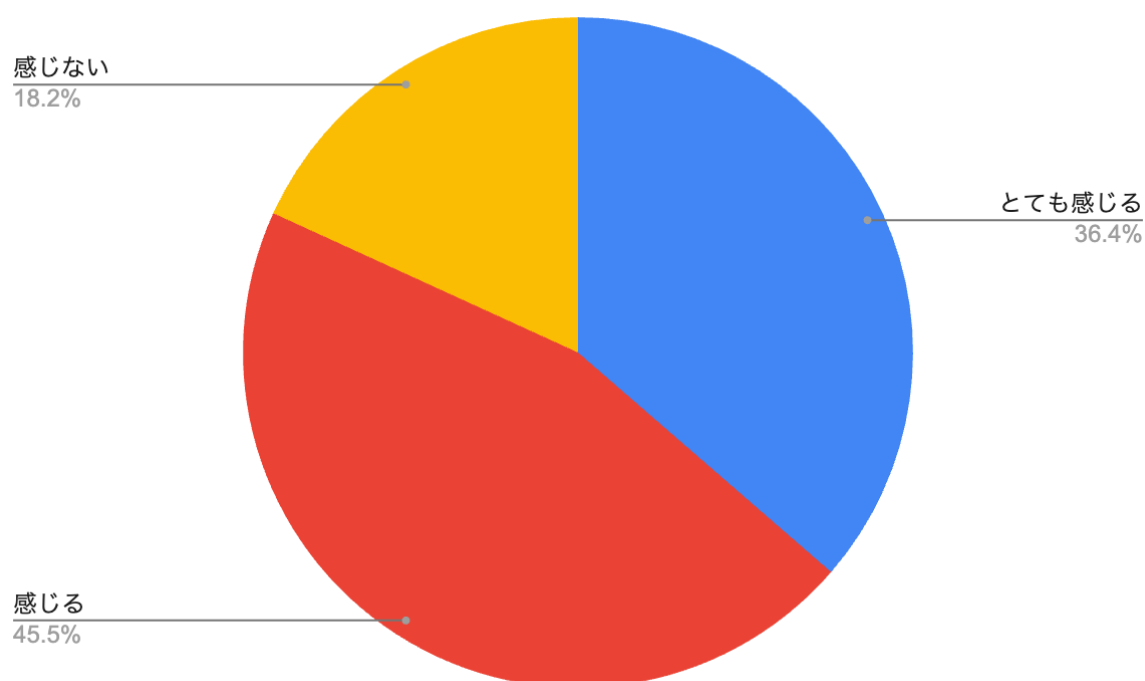
❖ 地域クラブ活動を通じて、自分の演奏したい楽器や活動に取り組むことはできていましたか？



❖ 自分の演奏技術や表現力がどの程度伸びたと感じますか？



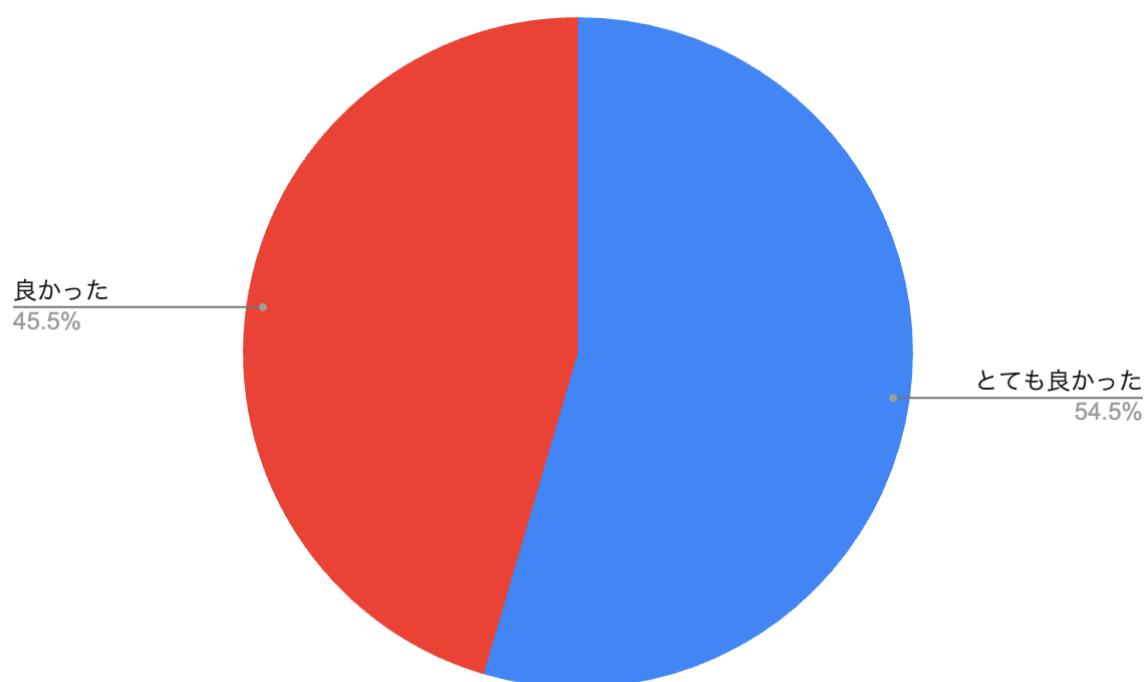
❖ この活動を通して、「音楽が前より好きになった」「自信がついた」と感じることはありましたか？



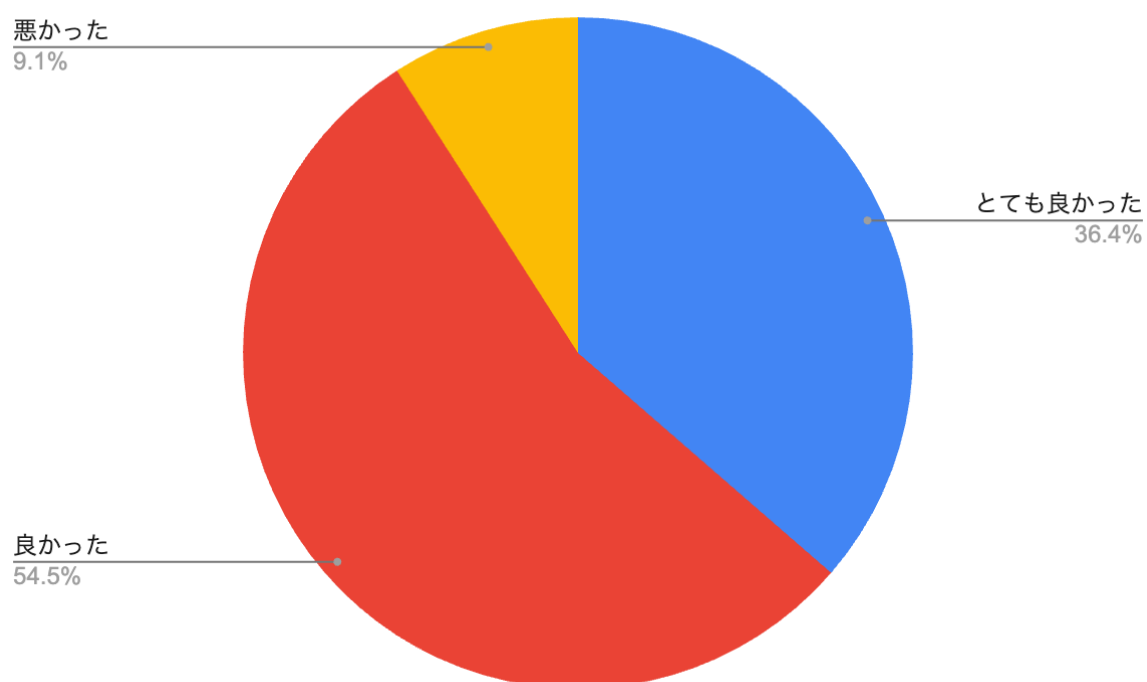
❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● コンクールなどに向けて、地域クラブに多く参加していたときは、上手になったと実感することが増えたとし、自分でここを練習しようと前より真剣に取り組むようになった ● 合奏の頻度が高く、自分の力を伸ばせたから ● クラは第1希望の楽器ではなかったけど好きな楽器ができなくて辞めようと思ったことがあったけど1年の頃と比べたらレベルが上がって、クラが好きになったのもあって、音楽は元々好きだったけど、クラ自体も好きになりました ● その楽器に詳しい先生と練習を行うなかで成長を感じたから。
感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 一年生のときより明らかに上達していること、音楽のジャンルを幅広く知れたこと ● いろんな曲をやったから ● コンクールでソロを吹いたり、色んなイベントに参加して演奏であまり緊張しなくなったり、自信がついたから ● 音楽がもっと好きになったから
感じない	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽しかったから ● 音楽は元々好きだから。音がノイズ気味だから。

❖ 指導してくれた講師（外部の先生）の教え方についてどう感じましたか？



❖ 琉球フィルスタッフのスタッフとの関わりやすさについてどう感じましたか？



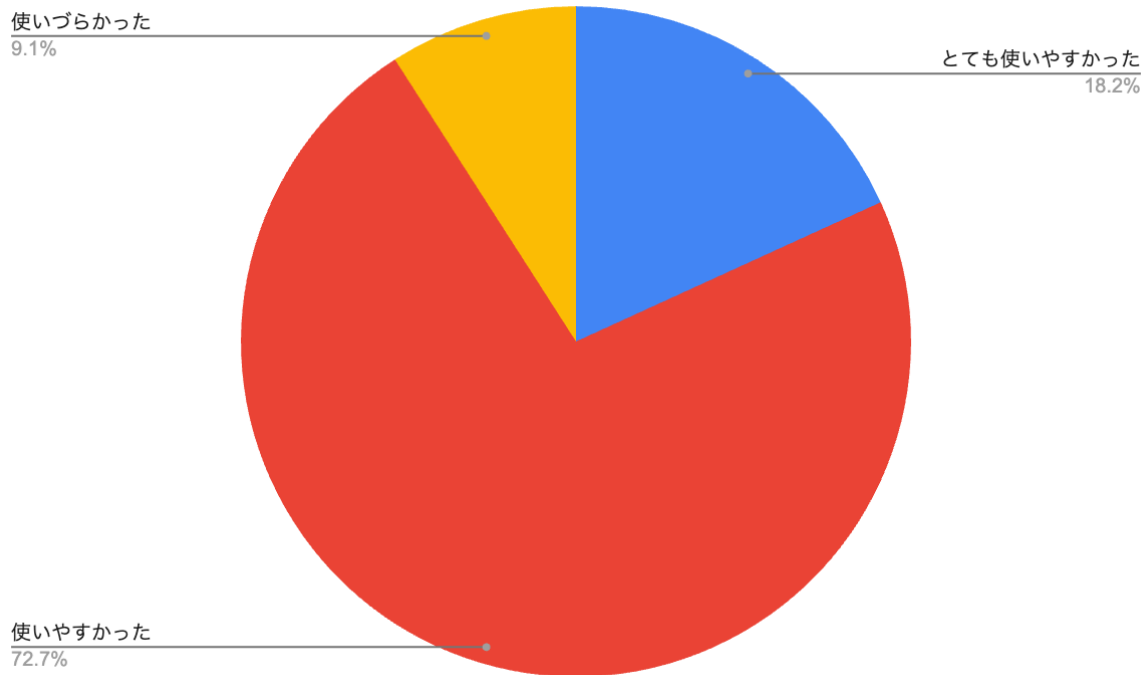
❖ 他校・小学生との活動を通して印象に残ったこと、学んだことがあれば教えてください

- 他校や小学生との活動で、自分も負けられないように頑張ろうと思うようになった
- 今まで20人ぐらいで合奏することがなくて大人数でやった方が盛り上がりとか

もあった

- 人数が増えたら音はここまで変わるんだと感じた
- 若狭文化祭などのイベントの準備を共同で行ったことで、地域とのつながりを感じた
- それぞれの練習方法や自信を持ってやることの大切さ
- コンクール前、上山中で6時間練習をして、みんなでお昼ご飯を食べたこと
- ジュニアジャズのメンバーと一緒に台湾の小学生と演奏会をしたこと
- すぐにテキパキ準備しててすごかった

❖ 練習場所（公民館）の使いやすさについて教えてください



❖ 上記のように答えた理由

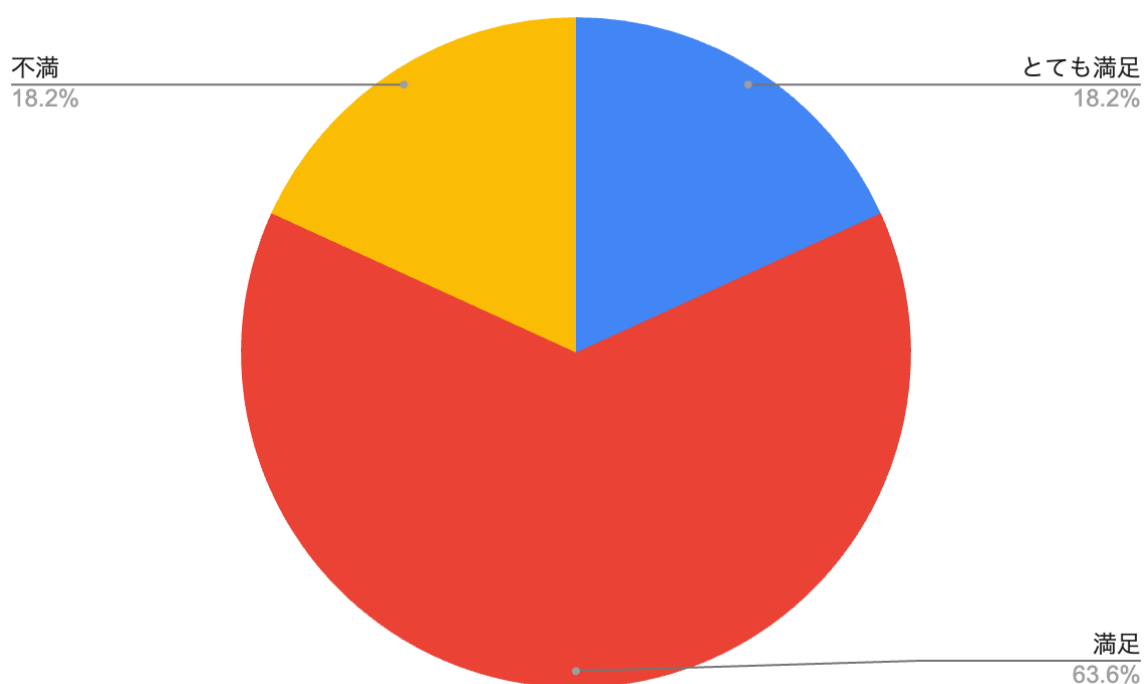
上記の回答内容	
とても使いやすかった	<ul style="list-style-type: none">● 広かったから
使いやすかった	<ul style="list-style-type: none">● 家からは遠いけど、那覇中学校からは近いので道がわかりやすい● 広々使えるのはとても良いと思ったから

	<ul style="list-style-type: none"> ● 集中して取り組める ● 楽器が借りれるから ● 広いけど、舞台上でやるとき靴をいちいち脱いだり履いたりするのがちょっとめんどいから（楽器持ってて手をあんま使えないからかもです） ● 広く、設備も整っているため
使いづらかった	<ul style="list-style-type: none"> ● ホールだけなので音がぶつかる

❖ 活動が続ける上でハードルに感じたことはありますか？

<ul style="list-style-type: none"> ● ありません ● 特にないです ● ないです ● 上中だけで練習をするのが平日だけになった。 ● 発表会やイベント出演には少し感じる ● 自由に使える時間が減ってしまうこと ● 他校の生徒やジュニアジャズの小学生との関わり方。相手側も他人みたいな雰囲気があって、最初はどうか関わっていいか分からなかった ● 練習場所が上中も公民館も那覇中より遠く、移動が大変。 ● 鼻水がびゃーびゃーの時のロングトーンは少々きついと思ってる ● きつい ● ある
--

❖ 通常の部活動と比べたときの満足度を教えてください

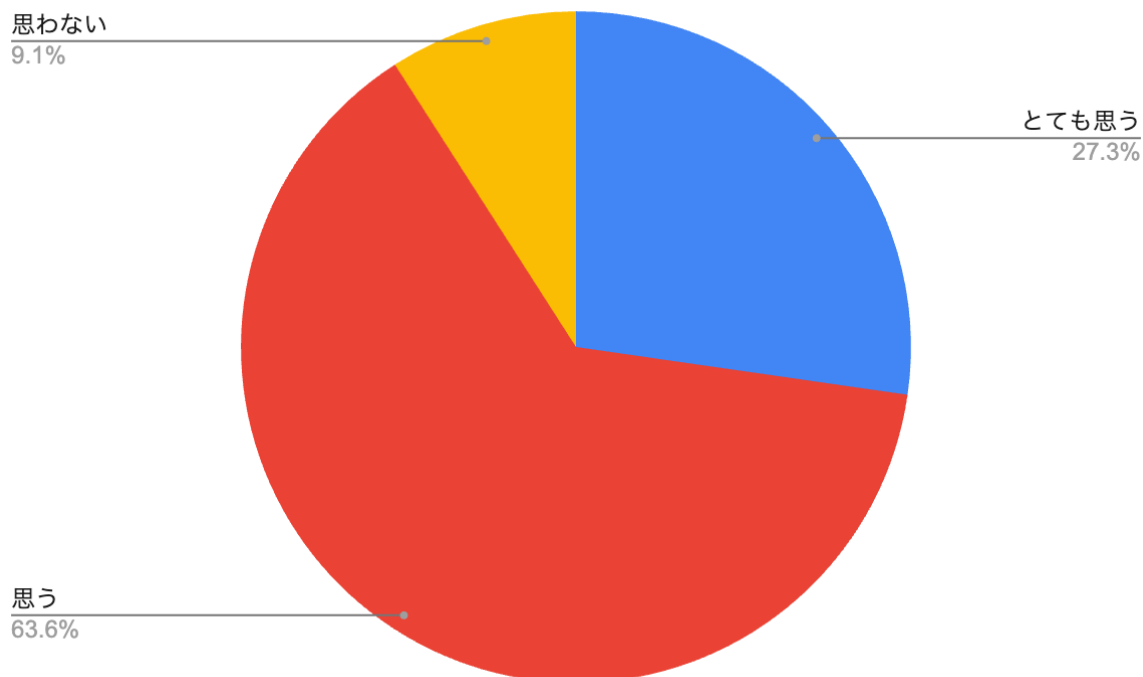


❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門の先生に習えるのが、とても有意義だったから ● 普段は人数が少なく、合奏の規模も小さいが、大人数で吹けて、ある程度みんな演奏ができるので、練習がスムーズに進んで楽しい。
満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の担当する楽器に詳しい先生がいるから ● 講師の人に細かく指導してもらえたから ● 勉強になったし友達も増えたから ● 他校の人との交流があったから ● 大人数で演奏出来るのはいいけど、人見知りが発動してあんまり意見とか質問が出来ないから ● 外部講師が来るから ● とてもよいから
不満	<ul style="list-style-type: none"> ● 家から遠い、時間帯があまりあわない ● 上中の部活は平日しかやってないから上中の部活っていい

	うよりは地域の部活ってなっていて、上中だけで練習する時が少なくなってイベントごと大体合同になっていて、上中だけで出れなくなることが増えてるから。
--	--

❖ またこのような活動（地域クラブ形式）に参加したいと思いますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても思う	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の成長に繋がるから ● 地域との繋がりを広げるのはいい事だと思うから。人との繋がりを広げたい。また、小学生は将来那覇中の後輩になるかもしれないから仲良くなりたい ● 上達の近道にもなるし、地域との関わりも楽しいなと思ったから
思う	<ul style="list-style-type: none"> ● 都合が合えば、参加したいと思います ● 楽しかったしイベントがたくさんあるから ● 大人数で演奏する経験をもうちょっとしたいから。あと、イベント楽しい

	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろ発見があったから ● 自分の実力があがったり、これから地域クラブでの経験がいかにイベントなどの出演には少しハードルがある ● 専門のプロの講師の方々の指導のもと、普段の学校での部活動に比べより上達すると思うから ● 大人数でやって盛り上がるのは楽しかったから
思わない	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のことで時間が合わないことがあるため ● 上中の部活は平日しかやってないから上中の部活っていうよりは地域の部活ってなっていて、上中だけで練習する時間が少なくなってイベントごと大体合同になっていて、上中だけで出れなくなることが増えてるから。

❖ その他この活動に関して感じたことはございますか？

<ul style="list-style-type: none"> ● 那覇中でも合同練習を行って欲しい。また、合同なので、意見をまとめるのが大変なのはわかるが、合同でこんな曲をやろうと思っている、や、やりたい曲はあるかなど、自分達の部活のことなので、少しは私達にも意見を言う場を作って欲しい。急に決まったことを伝えられるだけだと、少しビックリするし、自分達が部活をやっている感じがしない。また、普段の部活では、コーチや顧問に任せきりではなく、できるところは自分達でやらせて欲しい ● この地域クラブをしてからクラが好きになったし、講師の先生に教えて貰ってクラの自信が初めてついたからこの経験をもとに、3月の上中の定演ではあのメンバーみんなで合奏する最後の日だから、本当に最後の楽器でもあるし思う存分楽しもうと思いました。7月のコンクールぶりに吹く楽器も楽しもうと思いました ● 他の地域でも近いことをしているところはあるのかな。と思いました。 ● 生徒のことを考えてくれていると感じる ● 楽しかった ● 特にないです

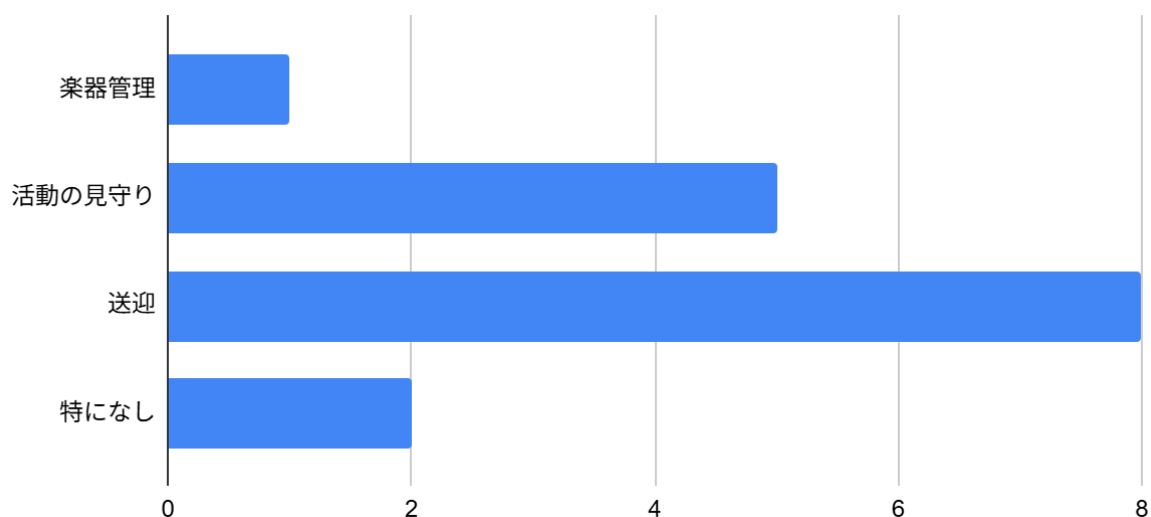
保護者詳細

事前調査（有効回答数：10件）

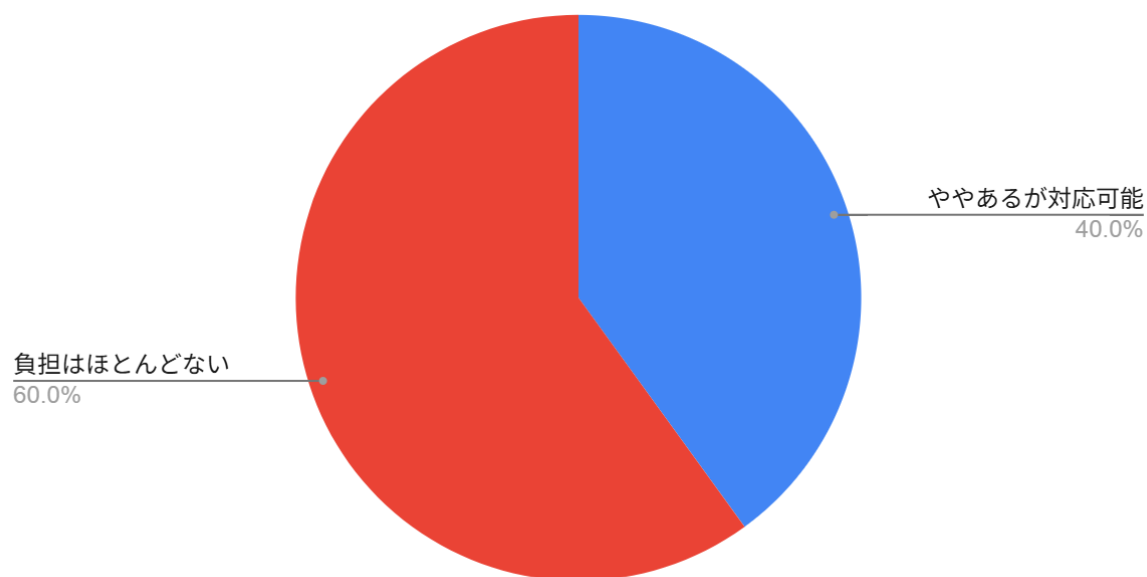
❖ 活動に対して、期待していること・不安なこと

- 部活動に多くの時間を費やして、下校後にすぐ練習に入るため、休憩がとれるかちょっと心配。
- プロから教えてもらえる貴重な経験を楽しみにしています。
- 大人数で演奏することの楽しさや達成感を味わって、音楽の素晴らしさを再確認できれば嬉しいです。那覇中吹奏楽部の一人一人の個性をつぶさないように広げていけたらと思います。
- プロの方に指導してもらえることに感謝、期待している
- 地域との交流をとおしてコミュニケーションが上手になること等を期待しています。
- プロの講師から指導してもらい、今以上に音楽に興味を持てるようになるかなと期待しています

❖ ご家庭として支援・協力する予定の内容



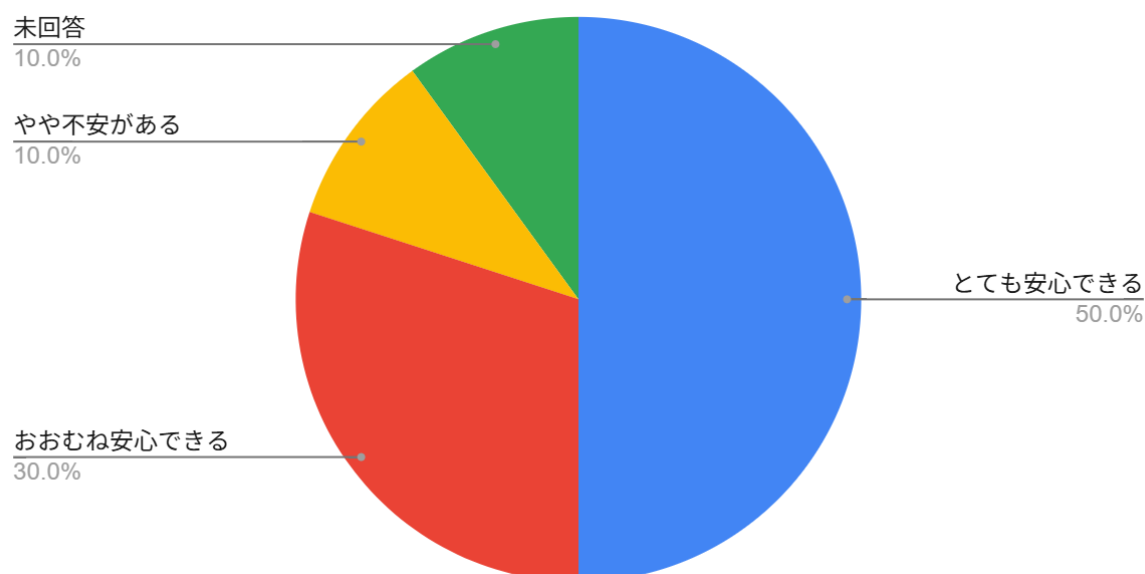
❖ この活動について、保護者としての負担感の見込み



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
ややあるが対応可能	<ul style="list-style-type: none"> ● 始まったばかりということで、保護者への協力がどのくらいあるのか不明なので ● 土、日の仕事があることがあるので ● シングルで仕事のあいた時間にしかできない為
負担はほとんどない	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動日数が少ないので負担はあまり感じない ● 若狭公民館での活動であればそこまで遠くないので。 ● 週末の活動であるため ● 負担に感じる事が今の所感じていないので ● 今は練習の送迎のみだから

❖ 管理団体(琉球フィルハーモニック)や運営体制に対する安心感

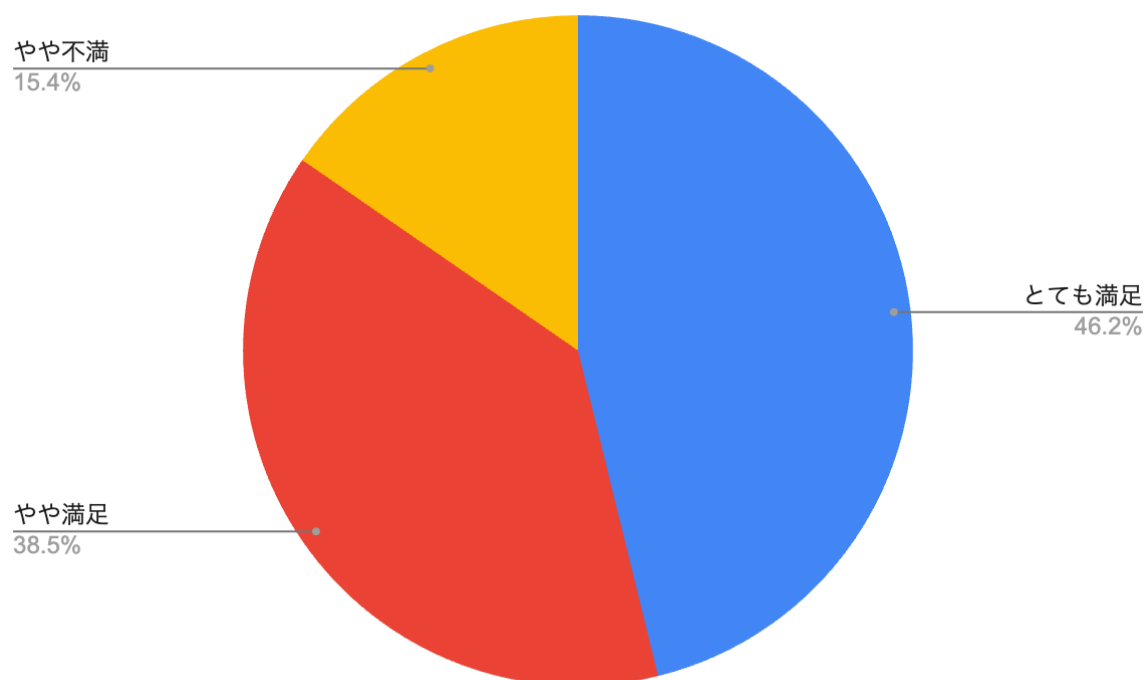


❖ 上記のように答えた理由

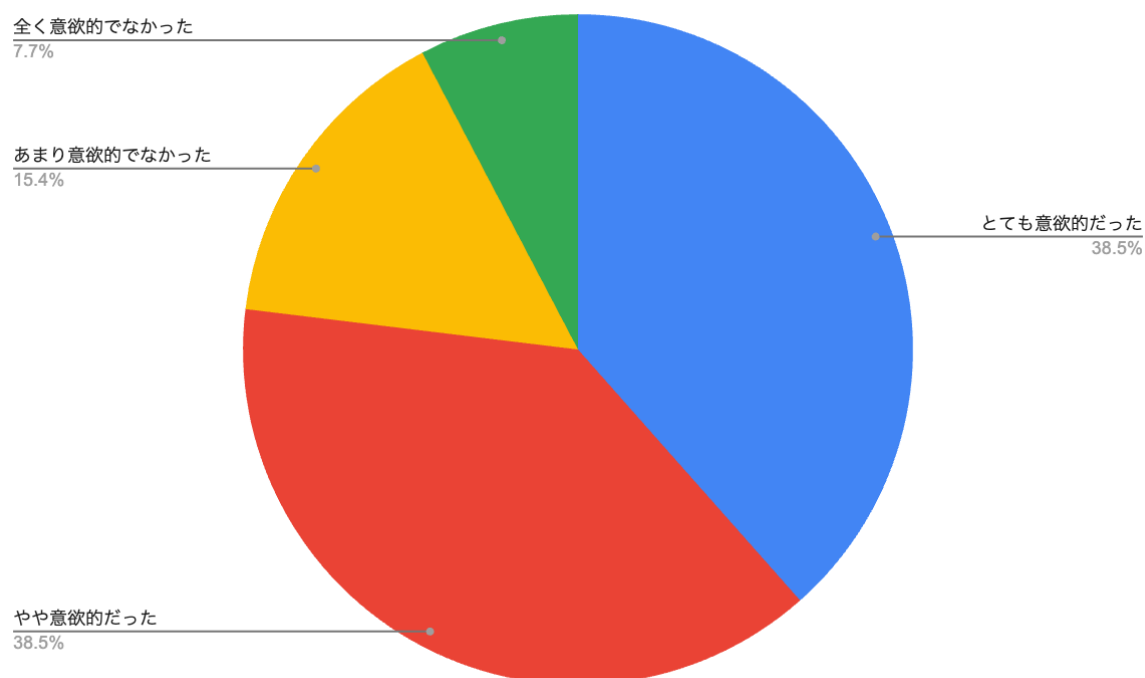
上記の回答内容	
とても安心できる	<ul style="list-style-type: none"> ● しっかりされた団体と感じたので ● 事前に詳しい説明をしていただいたことと、子どもが充実感を感じている ● 子どもが活動後 毎回今日はどんな事をしたよと楽しそうに話を聞かせてくれます。プロの講師から指導してもらえ貴重な経験が出来て有り難いです。
おおむね安心できる	<ul style="list-style-type: none"> ● 土曜日の午前中か日曜日夕方からの活動を希望します。 ● 音楽好きで楽しく習えていれば本人にとって良いと思います。
やや不安がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供達の意見を聞き、理解していただき、しっかり話し合いながら活動を進めていただきたいと思います。
未回答	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容をあまりよく知らないから

事後調査（有効回答数：13件）

- ❖ お子さまの地域クラブでの活動、特に他の中学校と合同で出場したコンクール、パレットくもじクリスマスフェスタを振り返り、どのくらいの満足感がありますか？



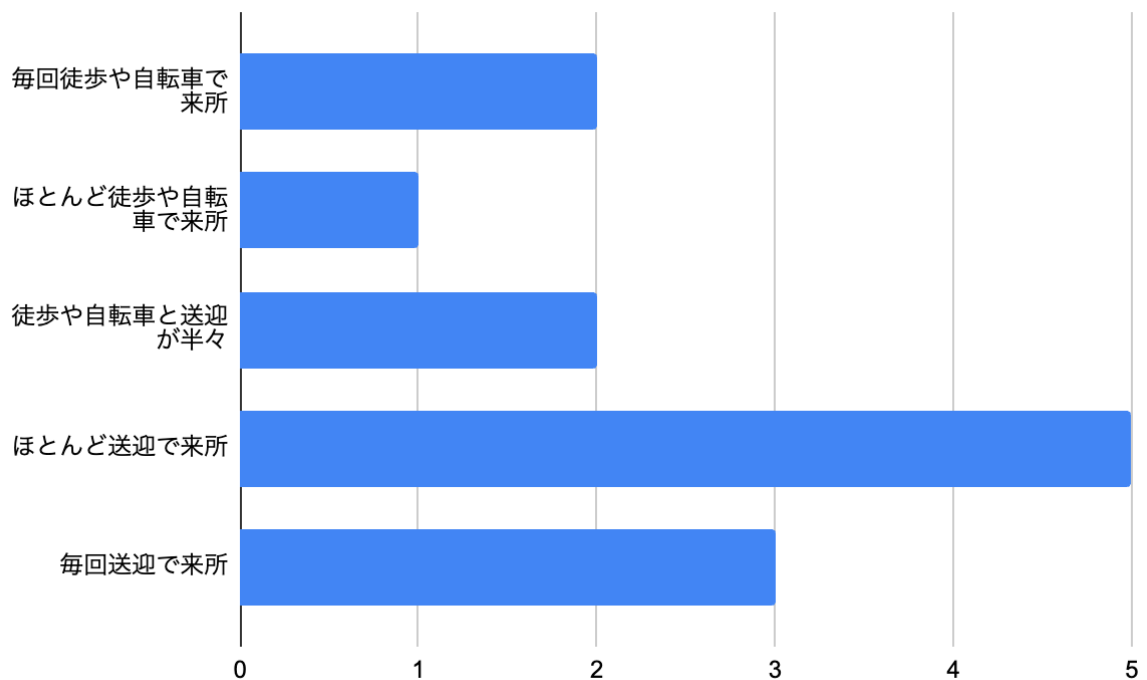
- ❖ お子さまはこの活動にどのような姿勢で取り組んでいたと思いますか？



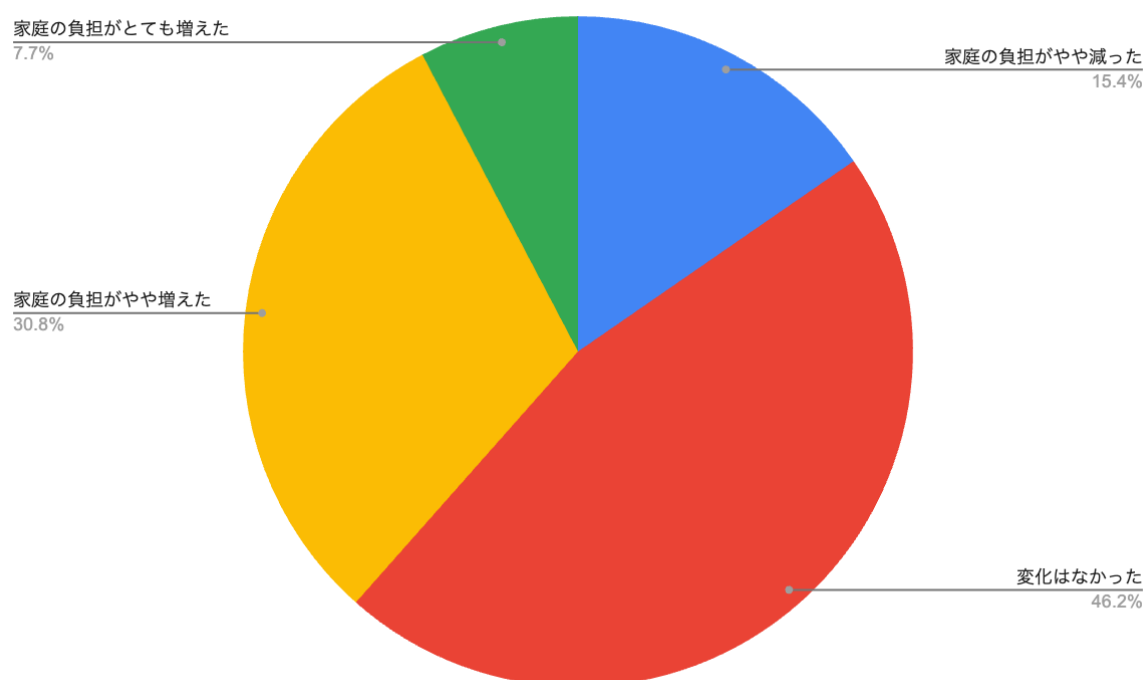
❖ ご家庭で見られたお子さまの変化があればご記入ください

- 部活内容を楽しそうに話すので 親子の会話が増えた
- 別のところでやるから初めて部活が行きたくないって言ってた。
- 楽器や音など少し詳しくなり時々話してくれます。
- 最初は意欲的に頑張っていました。が、日曜の友達との時間が奪われることや、学校外の沢山の人たちとの関わりに対する戸惑いや抵抗や、同級生の不参加による意欲低下、思春期による心の不安定さから、だんだんと参加しなくなっていった

❖ お子さまが地域クラブ活動に参加する際の移動方法を教えて下さい。



- ❖ 本事業は、これまでの部活動に比べて、家庭の負担感に変化しましたか？（送迎の手間・家族の時間・費用面などをふくめてお考えください）

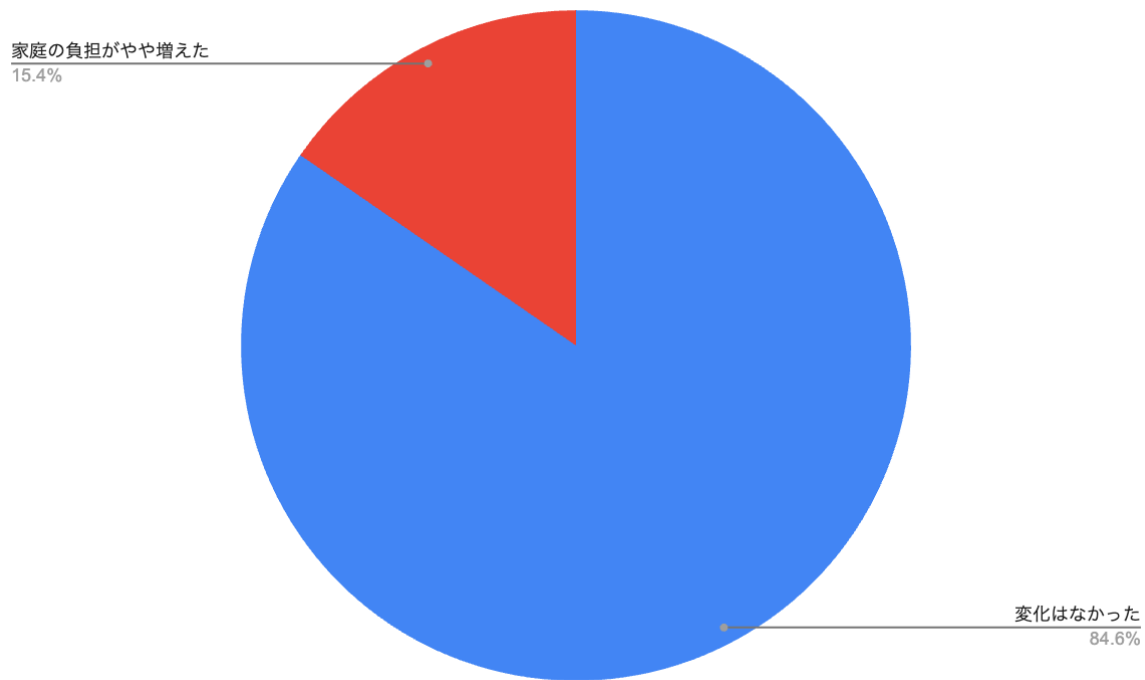


- ❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
家庭の負担がやや減った	<ul style="list-style-type: none"> 土曜の部活が無くなったことで家族との時間が増えました
変化はなかった	<ul style="list-style-type: none"> 1年生なので以前がどういう感じだったかがわからないので変化なしにしました 初めての部活動のため比べようがありません 一度しか参加していないから特に変化なし 多少時間の縛りはあるが負担までは思わない 送迎の手間や時間など特に負担に感じることはないです
家庭の負担がやや増えた	<ul style="list-style-type: none"> 送迎をしてるから 毎週土日は親戚の家に泊まりがけしてた為、これまでの予定が変更した分、移動の手間に負担が増えた 家が遠いので毎回送迎だったので

家庭の負担がとても増えた	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校での部活では送迎とか何も無かったが送迎が増えて仕事に負担がでた
--------------	---

❖ 参加費や交通費など、経済的な負担はこれまでの部活動と比べてどうでしたか？

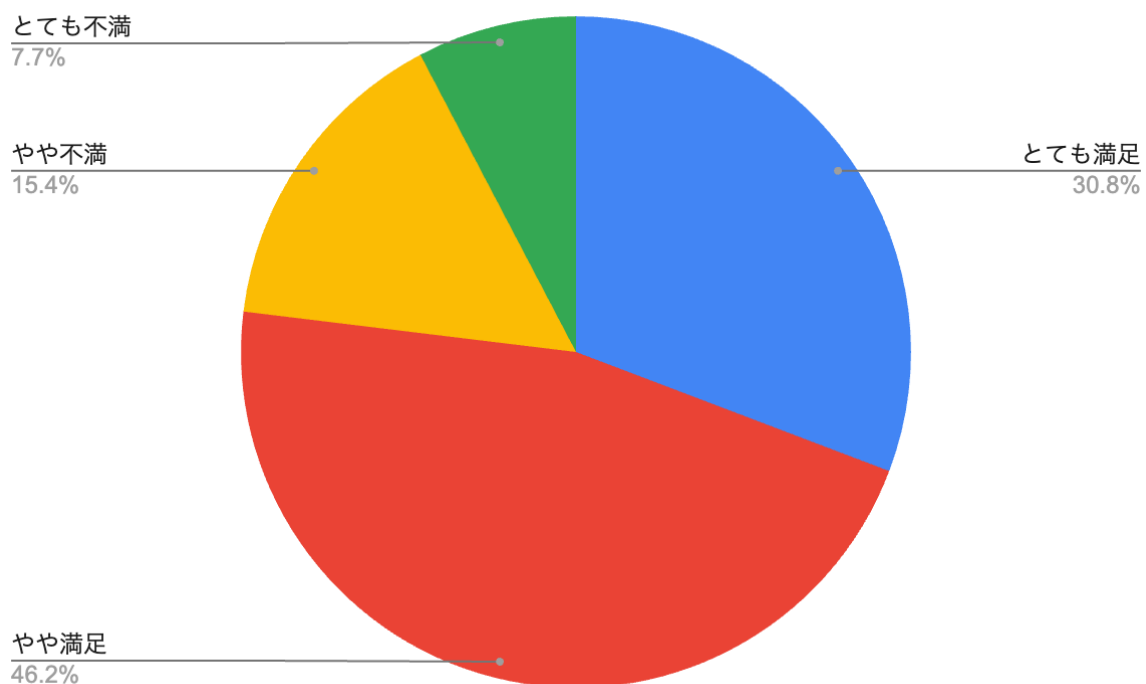


❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
変化はなかった	<ul style="list-style-type: none"> ● 徒歩でだいたい移動しているので費用もかかりませんでした ● 多少交通費の出費はあるが学びを得ることを考えると負担までは思わない ● 部活同様に費用の負担なく指導いただけるので大変ありがたい ● 1年生なので 比較する例がなくよくわからないが 負担だと感じる事はなかったです ● 初めての部活動のため比べようがありません ● 特に変化なかったから

家庭の負担がやや増えた	<ul style="list-style-type: none"> ● 家が遠いので毎回送迎だったので ● 自宅からの移動ではなく、親戚宅からの移動のために発生してしまった交通費(バス、モノレール)による交通費が出るようになってしまった
-------------	---

❖ 管理団体との連絡体制（頻度・内容・方法など）に満足できましたか？

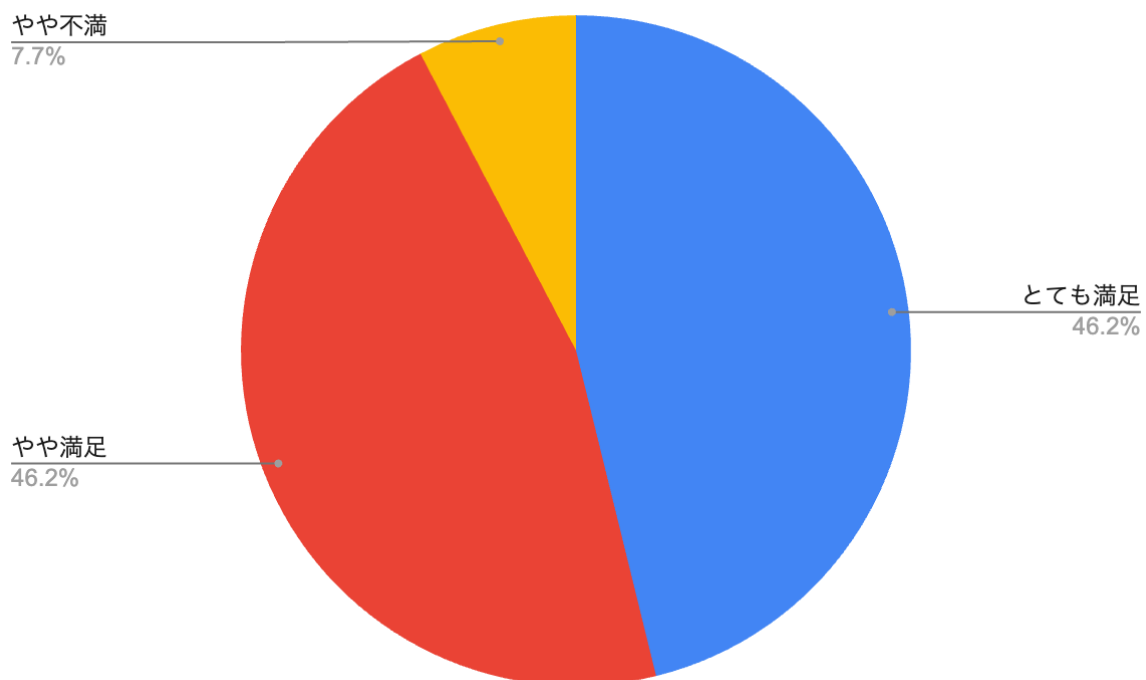


❖ 上記のように回答した理由

上記の回答内容	
とても満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 吹奏楽部のラインで連絡事項等が送られてくるのでわかりやすかった
やや満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容や方法が詳しくはわからないので ● 集合や解散の時間が直前にしかわからなかったりすることがあった ● あまり連絡事項なかったもので、ちょうど良い ● 刺激になるので
やや不満	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎回出欠の連絡を親がする事に負担を感じました。つい

	<p>つい「行った方がいいんじゃない」とか余計なことを言いたくなり自主性に任せる事が難しく感じました</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 那覇中の生徒の意見も聞いていただきたいです
とても不満	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生を通さないと連絡が通らないことがとても効率悪く、土曜に欠席等で学校行けなかった場合は、自動的に日曜の参加もできないことが億劫な気持ちを助長させてしまった気がします

❖ 公民館の設備・安全面などの環境についてどう感じましたか？



❖ 上記のように回答した理由

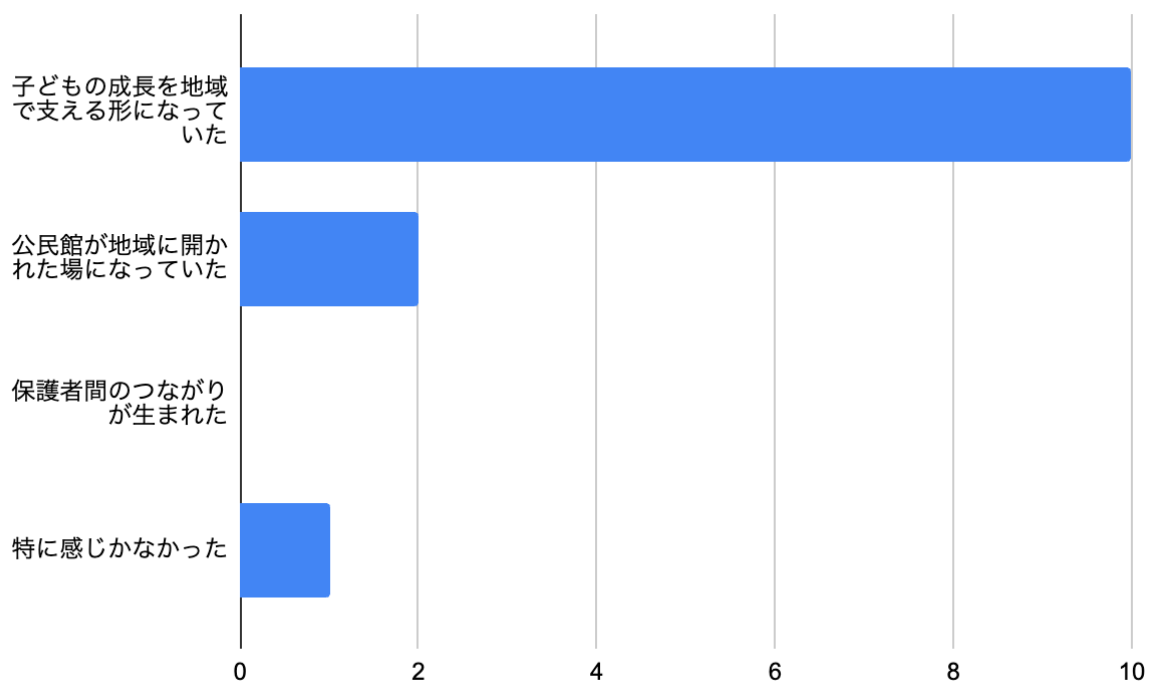
上記の回答内容	
とても満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の施設なので設備面では安心感がある
やや満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校近く 周りに不審者もない環境なので安心して通わせる事が出来た ● 少し場所が遠い ● 安全そうだから ● 施設自体は環境も整っていることや、自宅からの距離的

	にも問題はなかった
やや不満	回答なし

❖ 学校外で練習する形式について、どのように感じましたか？

- 色々な人と関わりもあり良いと思う
- 通っている中学校の生徒以外とも関わりながら練習でき、刺激になっている
- 学校外で活動するのは刺激になりいいと感じました
- 違う環境や地域との関わりを持ってほしいので良いと思います
- 学校外で練習できることや、学校外の人たちとの関わりや、プロの方々から直々にレッスンを受けられる機会というのは素晴らしい体験になったと思う。
- とても良いと思います
- 楽器を持ち歩かないといけないから大変だと思う
- 楽器を持ち帰るのを忘れたり大きな楽器を持って移動が大変そうでした
- 特にありません

❖ 今回の活動を通じて、このような取り組みは、地域にとってどのような良さがあると感じましたか？



❖ このような活動を他地域に展開する際に、課題になり得ると感じた点がありますか？

- 平日や土曜日は学校、塾や習い事で忙しく疲れて日曜は休みたい様に見えます。土曜日の部活は「学校が休みなのに友達と遊べる」と楽しそうに出かけていましたが日曜は休みたそうでした
- 異年齢の子どもや学校や親以外の大人との関わりで人間関係やコミュニケーションを通して視野が広がることを期待したい
- 生徒一人一人の意見を大事にいただけたら嬉しいです
- もう少し子供達の気持ちや意見が活動に反映されれば、子供達のモチベーションが上がるのかな、と感じた
- 活動日時をもう少し選択肢があれば良い
- 特になし

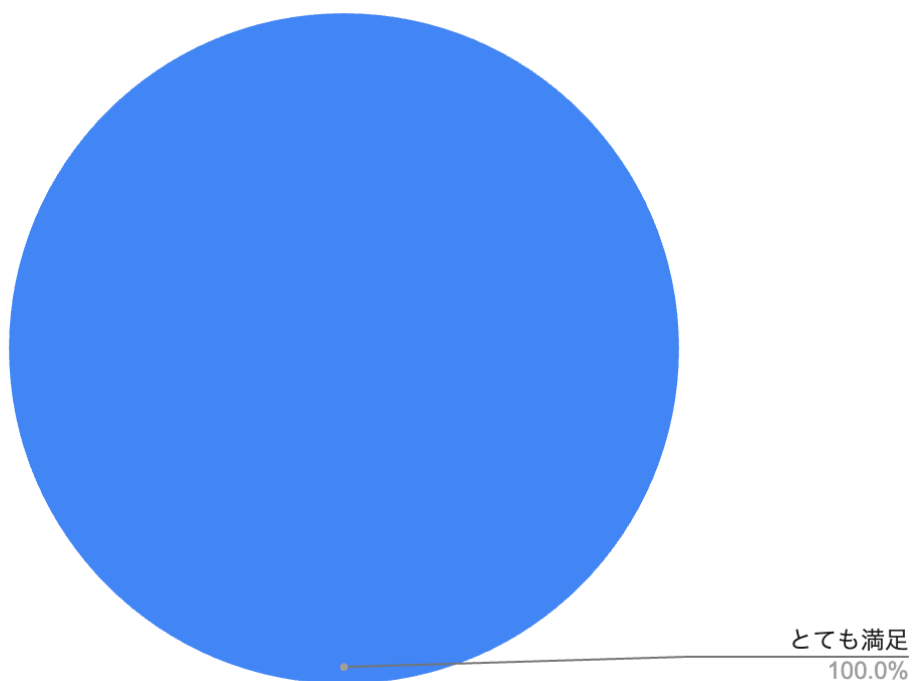
❖ その他本事業に関して感じたことはございますか？

- 先生達にお休みをとってもらえる事はとても素晴らしいと思います。子供も休日が必要なと思います
- ジュニアジャズオーケストラの方とは経験値が違うのと思春期などでやる気が全開にはならない事もあると思いますが音楽の楽しさを私達大人が伝えていけたらと思います。これからも宜しくお願いします
- これからも続けて欲しいです
- 今回の活動自体は素晴らしい試みだったと思っています。活動曜日が日曜以外にも反映されたり、先生の負担をもう少し減らしたり、楽器等の運搬事情などが解消され、全員が効率よく活動できたらより素晴らしいだろうと思う
- 特になし

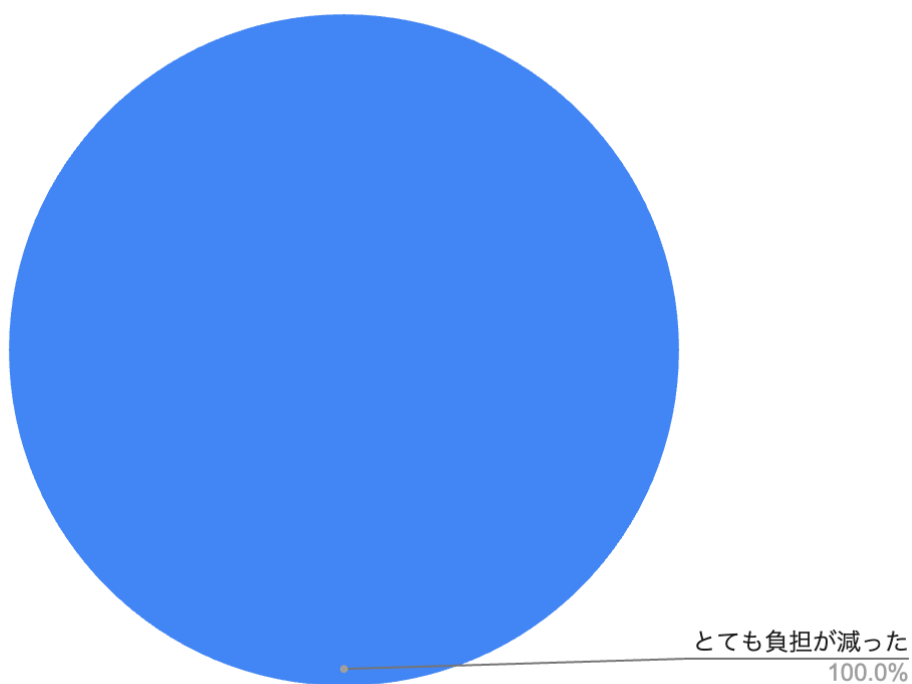
学校関係者詳細

事後調査（有効回答数：2件）

❖ 地域クラブでの活動にどのくらい満足しましたか？



❖ 今回の地域クラブ形式の導入により、教員の業務負担はどのように変化しましたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても負担が減った	<ul style="list-style-type: none"> 週末は地域での練習があるため、土日に部活のための出勤をしなくてもよくなったのが一番大きな負担減です。 楽器の指導や技術が必要な面で、プロの方がサポートしてくださるから

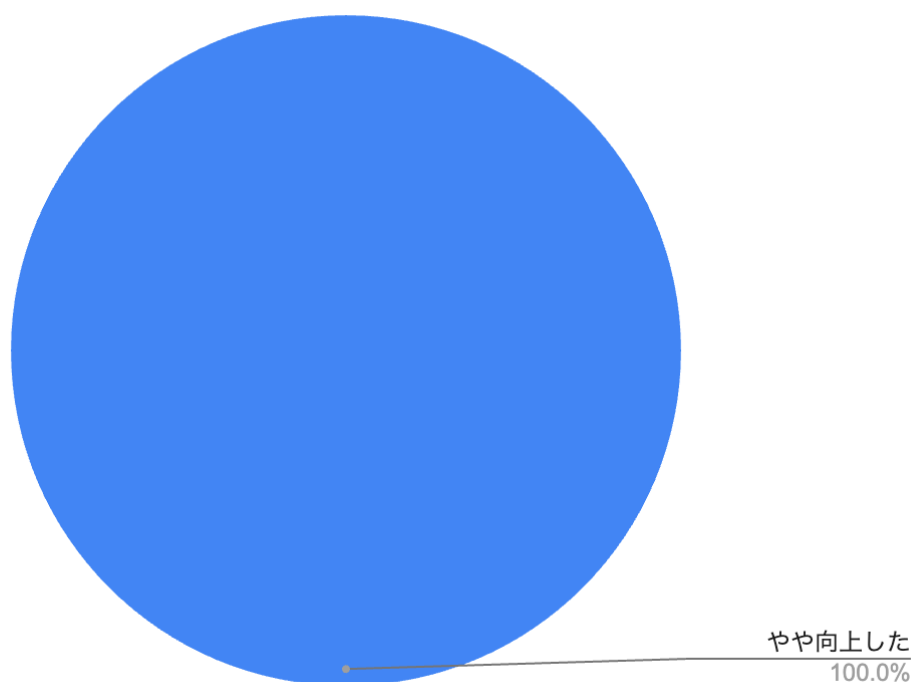
❖ 生徒の意欲はどのように変化したと感じましたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
やや意欲が向上した	<ul style="list-style-type: none"> プロの方に教わることで意識が高まったように感じます
変化はない	回答なし

❖ 生徒のスキルはどのように変化したと感じましたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
やや向上した	<ul style="list-style-type: none"> プロの方に教えていただけるのは大きいです。

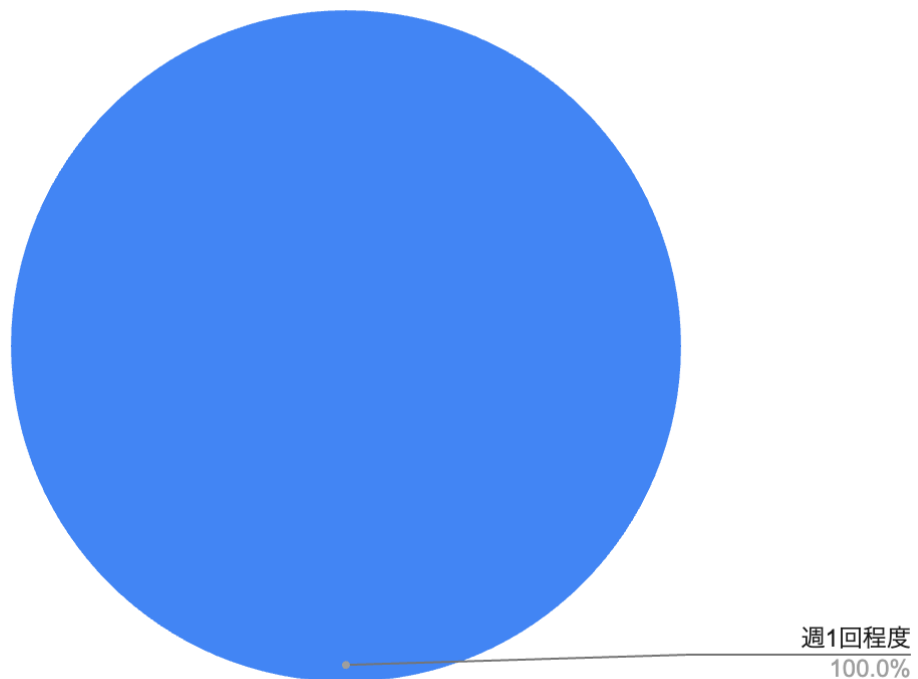
❖ 管理団体と学校との連携体制について、どのように評価されますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても良かった	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎回、活動の状況などを伝えてもらっていたからです
良かった	<ul style="list-style-type: none"> ● 細やかに上原先生（管理団体スタッフ）が連絡をしてくださったからです

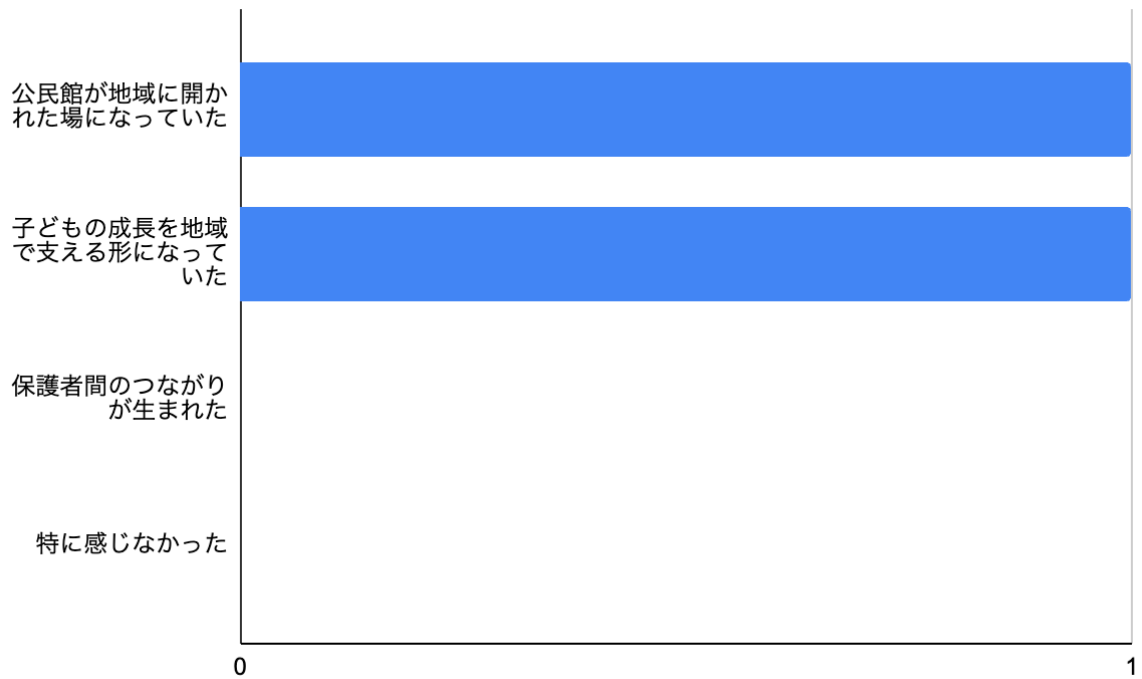
❖ 管理団体と学校との連携頻度について教えてください。



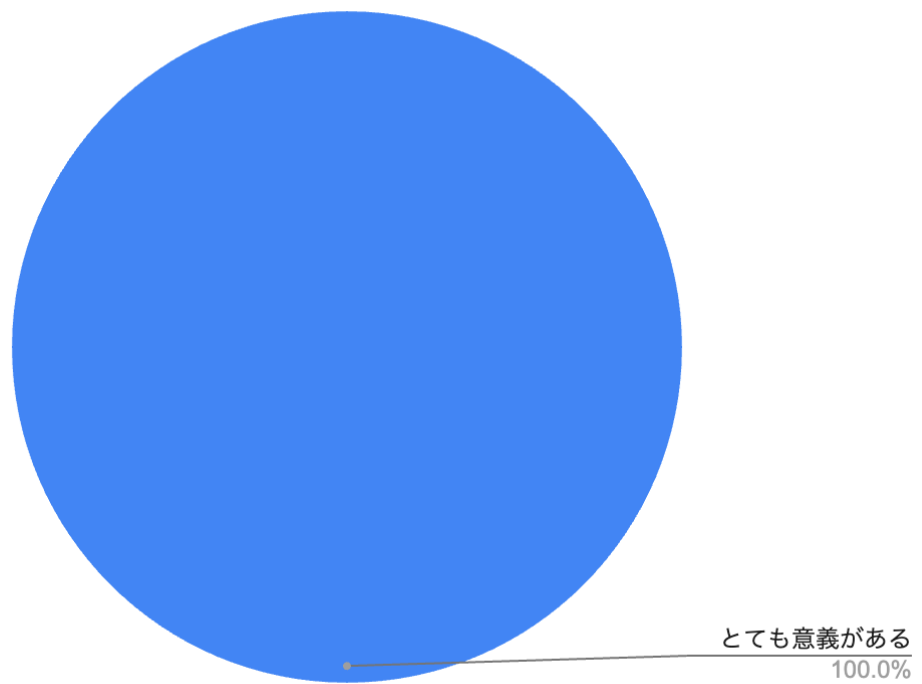
❖ 公民館の利用について、問題点はありましたか？あったと感じた場合、内容を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ● 特にないです
--

❖ 今回の活動を通じて、このような取り組みは、地域にとってどのような良さがあると感じましたか？



❖ 今後もこの形式の活動続ける意義があると感じますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
---------	--

とても意義がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 吹奏楽の部員が減っていく中で、学校外のメンバーと一緒に大人数で合奏することができるのは良い経験になるからです。 ● プロの方に教わる機会があることが貴重。不登校なので、学校の部活に参加できにくい子でも参加ができる
----------	---

❖ このような活動を他地域に展開する際に、課題になり得ると感じた点がありますか？

<ul style="list-style-type: none"> ● 運営費や、連絡調整係などの確保 ● ここまで積極的に活動してくださる団体は他にはないのではないかと感じます。

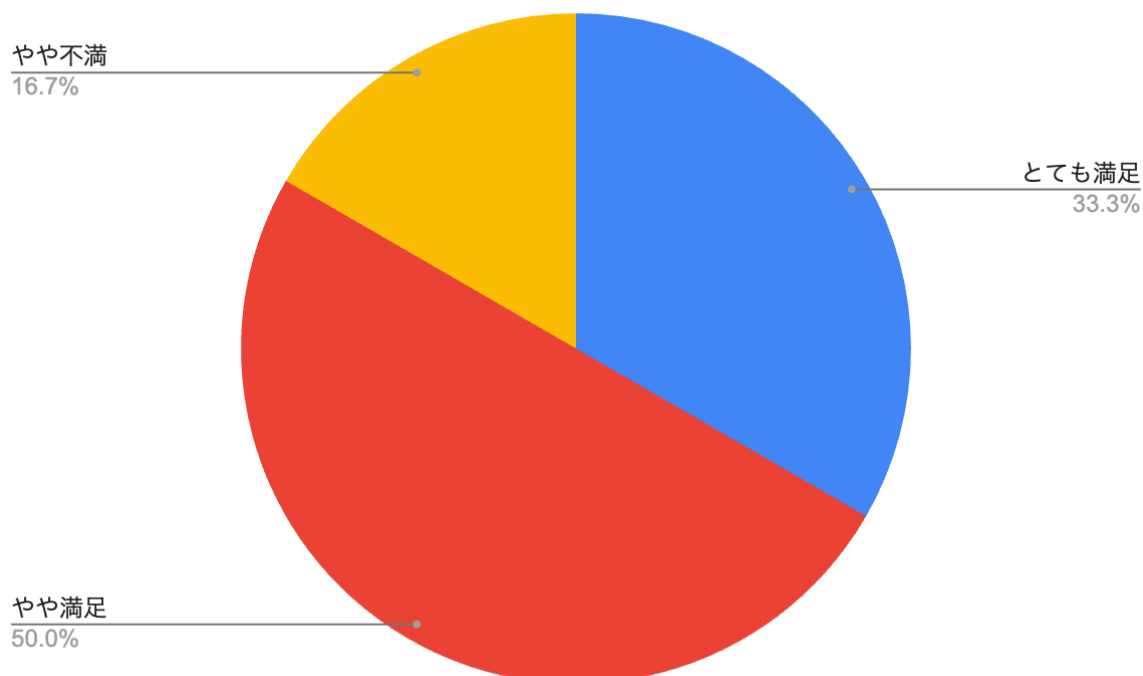
❖ その他本事業に関して感じたことはございますか？

<ul style="list-style-type: none"> ● ありがとうございました

音楽指導者詳細

事後調査（有効回答数：6件）

❖ 地域クラブでの活動の総合的な評価を教えてください。



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後重要な問題になる部活動のあり方を実践として取り組めたから。 ● 学生の部活継続(居場所の確保)・地域(公民館等)の協力や交流・専門指導員による継続的な指導
やや満足	<ul style="list-style-type: none"> ● 合同だと別学校の生徒同士の会う頻度(合奏できる頻度)がどうしても少なくなるため。しかし、他校の生徒と練習できることの刺激は大きいと感じた。 ● 毎回参加人数が少なく、来るか来ないかわからない点は改善できると良い。
やや不満	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動内容自体は良いと思うが、新規加入者が少ないため今後の活動が危ういと感じている。新規への誘致が足

	りていないと思う。
--	-----------

❖ 子どもたちの演奏技術や活動姿勢にどのような変化が見られましたか？

<ul style="list-style-type: none"> ● 指導回数が増えるにつれ聞きたい事を準備してくてくれるようになり、短い時間でも内容が濃い指導が出来た。 ● 学校関連以外での演奏(本番)があるので、練習意欲の向上が伺える。 ● 一緒にできる回数が限られている分、すごく積極的だと感じた。 ● 毎回参加している生徒は、成長が見られた。たまに来ても、楽しそうに演奏しているのをみると継続していくのもいいと思う。 ● スタートに比べかなり自立したと思う。最初は不安でなんでも質問してきたし自主的に動けなかった。
--

❖ 教員・管理団体・公民館との連携体制はいかがでしたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても良かった	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にひっかかりを感じた事はなく、とてもスムーズだったと思う
良かった	<ul style="list-style-type: none"> ● 先に内容や参加人数をお知らせいただいていたのでスムー

	<p>ズに取り組めたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教員との連携はどこまでしていくのか、検討が必要だと思った。部活の延長なのか、完全に切り離されているのか。今回は部活の延長のようだったが、参加も自由で生徒のやる気次第という感じだった。教員の負担が軽減されたのか知りたい。
--	---

❖ 指導において工夫したこと、難しかったことがあれば教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ● 全員が同じ空間でレッスンしているので、音や声が被り指導しづらかった。 ● それぞれの学校から楽器を持参しているため、それぞれにあった楽器の選定(学校内にある楽器で合うものを選びづらい)が難しいなと思いました。 ● 子どもとの距離感をどう詰める、どう離れる、というのは未だ試行錯誤中 ● 他校生との交流がもてるよう、名前をしっかりと呼びながら指導するようにしました。 ● 学校の楽器のメンテナンスが悪く、演奏や指導に支障がありました。 ● 生徒が理解しやすいように、リズムに歌詞をつけて楽譜の読み方を教えた。演奏に必要な基礎練習や曲の練習などを実演しながら教えた。
--

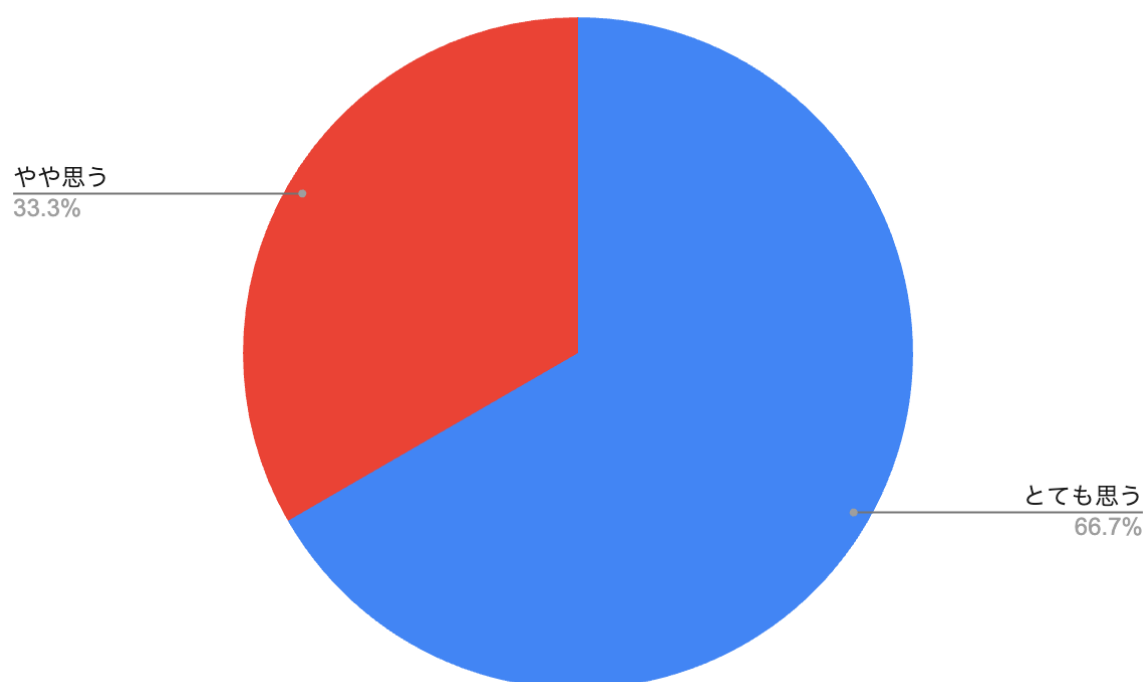
❖ 他校・異年齢交流を通じた子どもの様子について、感じたことや思ったことがあれば教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ● 高学年は少し背伸びするような気がする(良い傾向)。下の面倒を見ようとするので。 ● ジュニアジャズのフェローもいる状況だったので、よく交流出来てるように感じました。 ● そもそも(居場所)がなければ経験できない内面の変化や向上があると思います。声量・笑顔が増える、積極的な行動、ライバル心やポジションによる気付きによる演奏技術の向上など。 ● 小学生との関わりはほぼ無かったように感じた。他校(中学生同士)は交流していたと思う。

❖ 今回のような活動の場合、講師料の相場は何円程度が理想的と考えますか。

- 1h/2500円
- 特に理想はなく、今回頂いた分に不満もないです。
- 普段は1時間5,000円のレッスン代をいただいています。

❖ 今後もこのような地域活動に講師として関わりたいと思いますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても思う	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生を持つ親としてもとても興味のある活動なので。 ● 地域で子供を育てる視点に賛同するから。
やや思う	<ul style="list-style-type: none"> ● 勿論関わると嬉しいが、最初の理由で誘致が足りないと感じていて活動当初に比べ先細りになってきていると思われる為。誘致が足りないと感じるということは、そこまで活動に意欲的ではないのではないかと少し思う。 ● 生徒の成長を見るのは嬉しい。

❖ このような活動を他地域に展開する際に、課題になり得ると感じた点がありますか？

- 練習場所の確保
- 練習場所までの送迎など保護者の協力があるのではなかろうかと思いました。
- 校区が広い地域では、拠点に集まるにも送迎が必要になり、本人や家族の負担になると思う。週末はそれぞれ予定があるので、参加率を上げるのは難しそう。
- 専門指導員の確保
- 指導者の能力にかなり準ずる。同じノウハウが通じない地域もあるはず。恐らく地域地域で違う問題があると思うので一気に展開はせず、一つずつやっていくのが大事かと思う。
- 特になし

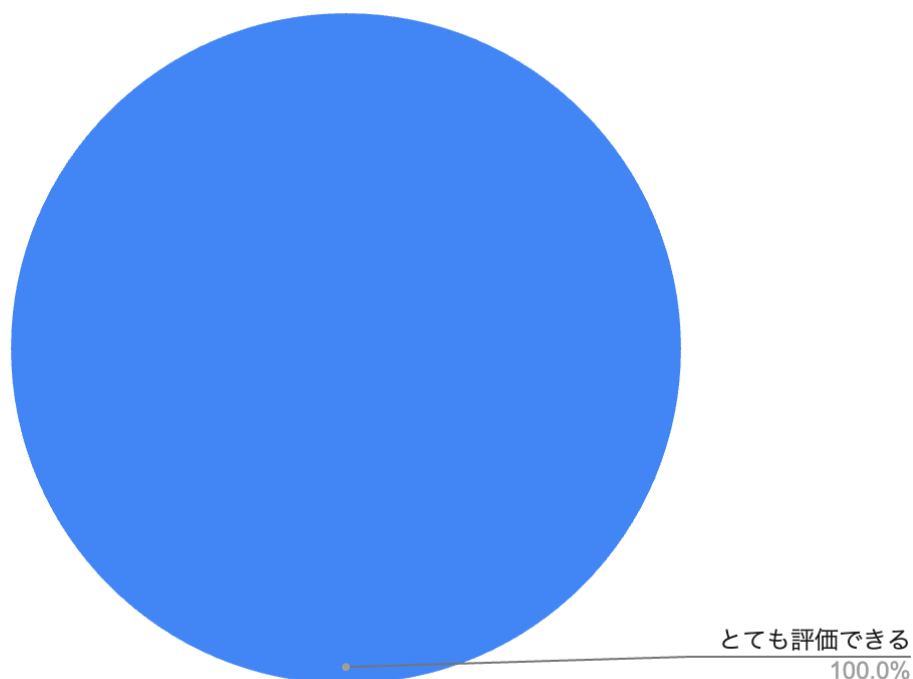
❖ その他本事業に関して感じたことはございますか？

- 内容自体は非常に良いと思います。しかしやはり団員が増えないのは死活問題かと思われるのでそこは大きな課題かと。
- 練習時間が1時間では短いように感じる。ジャズの時間から参加する生徒は少なく、16時から17時では、調子が出てこれから！という時には終わってしまう。

施設（公民館）関係者詳細

事後調査（有効回答数：2件）

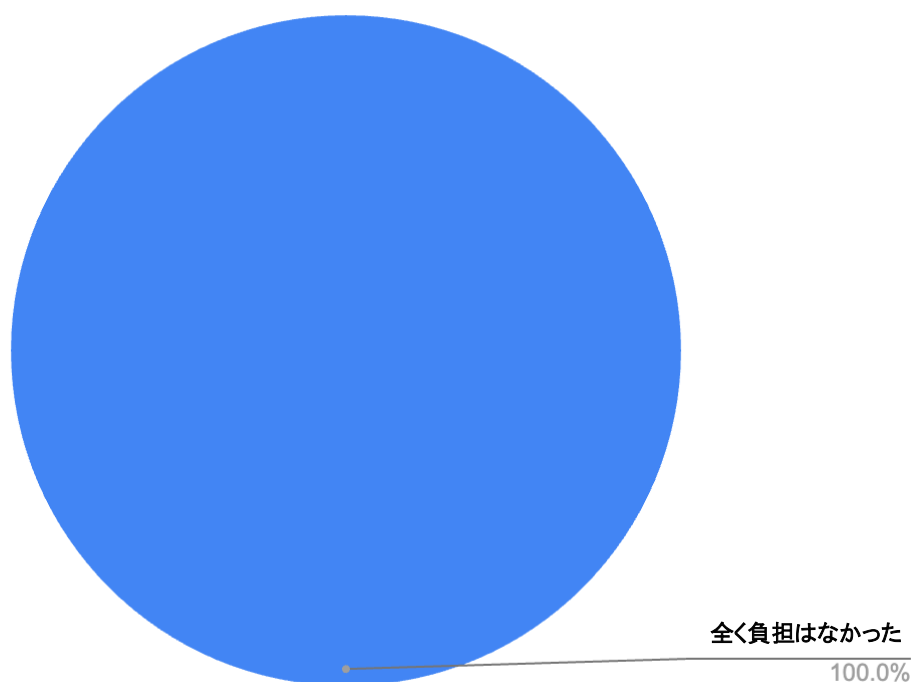
❖ 地域クラブでの活動の総合的な評価を教えてください。



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても評価できる	<ul style="list-style-type: none">● 学校教育現場の負担軽減ということはもとより、地域資源を活用して子どもたちの育成を行うことで、世代を超えた地域のつながりづくりに寄与することができる

❖ 今回の活動を受け入れることで、公民館としての業務負担はどうでしたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
全く負担はなかった	<ul style="list-style-type: none">● 公民館としては、通常業務以上の負担は感じなかった。負担はないが、公民館として目指す方向性としては、成果は大きい。● 貸館のみだから。

❖ 公民館の設備・環境は活動に適していたと感じましたか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
とても感じる	回答なし
やや感じる	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備を提供する側として困ることは一切ないが、学校の音楽室や専門ホールではないので、利用する側にとっては不足があったかもしれない。

❖ 子どもや保護者との関わりの中で印象に残ったことはありますか？

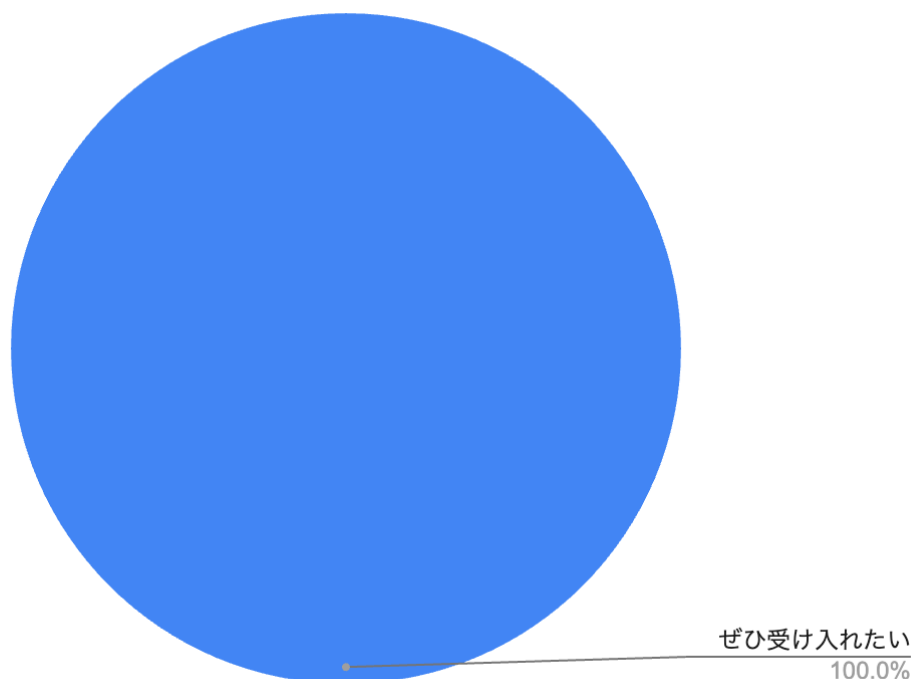
- ジュニアジャズオーケストラとして関わってきた子が部活動の取り組みとして継続的に関わっていること、地域文化祭などの発表会でその成果を表すと同時に、職員との会話が生まれるなど、通常の練習とハレの場として地域で発表する機会があることで、成長の様子が見れたり、関係性が深まっていく印象がある。

❖ 今回の活動を通じて、このような取り組みは、地域にとってどのような良さがあると感じましたか？

- 公民館が地域に開かれた場になっていた

- 子どもの成長を地域で支える形になっていた，公民館が地域に開かれた場になっていた，保護者間のつながりが生まれた

❖ 今後もこのような活動を公民館で受け入れたいと思いますか？



❖ 上記のように答えた理由

上記の回答内容	
ぜひ受け入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館には「つどう・まなぶ・むすぶ」役割があり、地域の中で多様な関係性を育み、関わる人それぞれが自分の価値観を更新し、成長していく場です。地域部活動の取り組みは、公民館の目指す方向と合致しています。また、現在の学校教育現場の状況や社会の要請としての中学校部活動のあり方を考える際、このような取り組みは重要であり、公民館としてその一翼を担うことができるのであれば積極的に協力していきたいです。

❖ このような活動を他地域に展開する際に、課題になり得ると感じた点がありますか？

- 関係者の目線合わせ。目指すべき方向性を共有した上で、お互いの資源を持ち寄り、できることを調整していく必要があります。多様なステークホルダーが関わるので、それぞれが前向きに取り組むことが必要となりますが、他の地域で展開する際は、その目線合わせで苦勞するかもしれません。

❖ その他本事業に関して感じたことはございますか？

- 大変有意義な取り組みで、今後も継続してほしいです。また、他の地域での展開も期待したいところですが、それには関係者の理解が不可欠です。ここで得られた成果を見える化すること、課題に対してはさまざまな角度から検証することが必要だと感じます。環境整備に難しさがあるかもしれませんが、ポジションで話すのではなく、ビジョンを共有することから始めて、折り合いをつけながら良い方向を模索していければと思います。

管理団体詳細

事後調査（有効回答数：1件）

❖ 運営上、特に大変だった業務や工夫した点があれば教えてください。

- 本事業は開始直後に吹奏楽コンクールを控えていたため、生徒への指導体制の構築に加え、学校との費用分担の確認や役割整理を短期間で進める必要があり、運営上大きな負担となった。しかし、両校の校長および吹奏楽部顧問が非常に協力的であったことから、公民館と学校を活用した合同練習を円滑に実施することができ、体制づくりを着実に進めることができた。
- また、7月末のコンクール終了後には3年生が引退し、夏休み期間に入ったことで一時的に参加者が減少し、講師をお願いするスケジュール調整が難航したが、地域文化祭やクリスマスコンサートへの出演を目標として設定し、参加を呼びかけたことで、生徒の意欲が高まり、徐々に参加者数が増えてきた。

❖ 教員・講師・公民館職員・保護者との連携において感じたことはありますか？

- 本事業の実施にあたっては、特に両校の吹奏楽部顧問教員の多大な協力により、生徒および保護者との連絡・調整を円滑に行うことができた。
- 大型管楽器の運搬については、重複している管楽器を若狭公民館に常置し、大型打楽器については上山中学校音楽室を活動拠点とすることで、運搬負担の軽減と安全な管理を実現した。また、徒歩で通う生徒や、生徒の送迎については保護者の協力を得て行われ、状況に応じて乗り合いによる対応もなされていた。
- 指導講師については、琉球フィルハーモニックオーケストラで演奏活動を行う奏者を中心に依頼したことで、指導内容や運営方針の共有がしやすく、安定した連携体制を構築することができた。
- 若狭公民館職員とは、「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」の活動を通じて日頃から、利用団体協議会、まちづくり協議会、地域連携会議等において連携を重ねてきた。その関係性を基盤として、練習会場の使用時間延長、楽器の保管、地域行事への参加など、多岐にわたる協力を得ることができ、本事業の円滑な運営につながった。

❖ 管理団体と保護者との連携頻度について教えてください。

→回答：月1回程度

❖ 管理団体と学校との連携頻度について教えてください。

→回答：週1回程度

❖ 管理団体と講師との連携頻度について教えてください。

→回答：2週間に1回程度

❖ 管理団体と公民館との連携頻度について教えてください。

→回答：2週間に1回程度

❖ 子どもたちの変化や印象に残ったエピソードがあれば教えてください。

- 吹奏楽コンクールが近づくにつれ、両校の生徒同士の交流が徐々に深まり、本番当日には初心者が約8割を占める編成ながらも、随所で美しい響きを感じられる演奏へと成長した。
- 地域クラブ開始当初は、ジュニアジャズオーケストラの練習終了後に合流する中学生がほとんどであったが、11月頃からは小学生と同じ時間帯から合奏に参加するようになり、学年を超えた音楽的な一体感が生まれていった。
- また、若狭公民館での活動に一度も参加していなかった生徒が、11月以降は毎回欠かさず参加するようになるなど、活動への意欲の高まりも見られた。
- 12月18日にパレットくもじ前広場で開催されたクリスマスコンサートでは、ジュニアジャズのメンバーと共に、自信に満ちた表情で演奏に臨む中学生の姿が印象的であり、本事業が子どもたちの成長と自立を後押ししていることを実感する場面となった。

❖ トラブルや想定外の事象があった場合、その対応について教えてください。

- 今回、活動中のケガやトラブル、想定外の事象はなかった。

❖ 今後このモデルを継続する上での課題・改善点を教えてください。

- 本事業は日曜日を中心に実施してきたが、学校部活動が行われない日曜日は、塾

や習い事などの既存スケジュール、保護者の送迎事情等が重なり、参加者が限定的となる傾向が見られた。一方で、演奏行事や発表の機会が近づくと直前練習への参加率が高まることから、活動を数年単位で継続し、地域クラブとしての実施日程や活動リズムを「当たり前のルーチン」として定着させることで、参加者増加が見込まれると考えられる。

- 運営面では、今回はジュニアジャズオーケストラの講師に指導時間を延長してもらうなど、講師側の協力により講師料を抑えながら実施した。また、他の講師にも謝金を抑えた形で指導を依頼してきたが、継続的なモデルとするためには、本来必要となる講師謝金を安定的に確保する仕組みづくりが不可欠である。
- また、リード等の消耗品については学校側の負担に依存してきたが、地域クラブとして自立した運営を目指す上では、消耗品費を含めた活動経費を地域クラブ側で賄う体制への移行が課題となる。加えて、楽器の修理・定期整備、将来的な楽器購入に対応するための予算確保も必要である。
- 活動場所についても、公民館や学校など関係機関の協力を得ながら継続的に確保するとともに、地域住民や保護者への周知を随時行い、地域全体で活動を支える環境づくりを進めていく必要がある。
- さらに、事業を担う管理団体においては、事務・調整・安全管理等を担うための運営費用の確保が重要であり、人的負担に過度に依存しない持続可能な運営体制の構築が今後の大きな課題である。